臺灣日日新報

本日八頁

發行兼編輯人印刷人新聞者

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

本紙定價 一部五錢・一ヶ月前金壹圓參拾五錢・三ヶ月同參圓八拾錢・六ヶ月同七圓五拾錢・一ヶ年同十四圓五拾錢 日本國內及支那地方送料不要

廣告料 普通欄 一行十五字詰 八拾錢 特別欄 一行 壹圓貳拾錢 記事中 一行 壹圓五拾錢

振替口座臺北二〇番 私書函臺北三番

電話 代表番號 三八〇〇 編輯用 三八〇四 三八〇五 營業部 三八〇三 活動部 四八〇三 電信略號（タヒ）

謹賀新年

勉强と努力の魚文

魚文の壽司とよせ鍋

會席御料理と折詰に

新趣向の模擬店料理

出張もしくは魚文の自慢

臺北京町（電話二五二八番）

魚文

新年宴會は是非

新築落成の新座敷旭泉で

●大小宴會に勉强致升

●大衆及家族風呂の設備有り

北投温泉

割烹旅館 旭泉

北投 電話六四

明けまして御目出度う

新年宴會は改造に一變せる

新公園内 電話二五二九番

カフェー平和料理店で

是非一度御試食願ひます

平和食堂 平和カフェー 平和座敷部

新年宴會は

改造、並に

最も勉强する

金子屋で

京町四丁目 電話三五二番

如何程でも御用命に應じます

川端の新茶屋

樽酒入著

大小宴會は特に勉强致します

新年宴會には新築の大廣間を御利用下さい（風呂絶付）

御料理 新茶屋 電話八二五番

亀の子束子

發賣以來品質はいよ〳〵向上し名實共に臺所の王者

亀のマークは優良品のしるし

西尾商店

理想的 箱入高級酒

黒松 白鹿

御正用 御家庭用 宴會用に

辰馬本家酒造株式會社

世界に誇る

專賣特許の

クリーム歯磨

資生堂歯磨

資生堂歯磨（大）一個御買上げ毎に

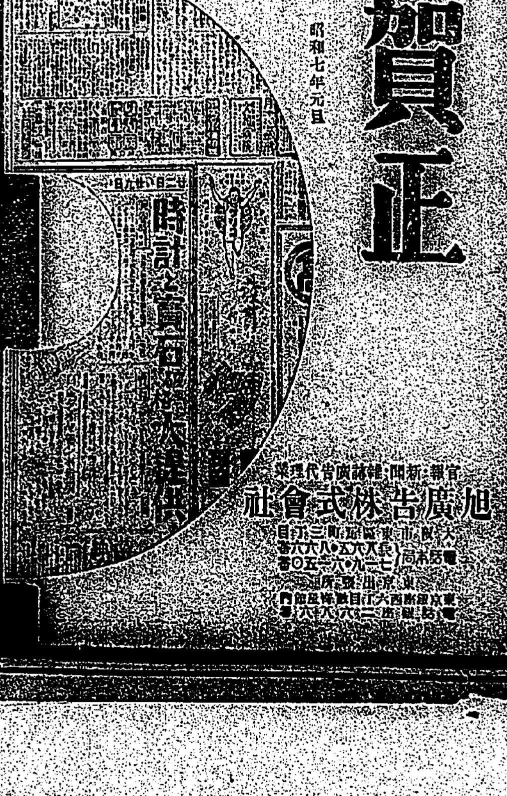
資生堂せんたく石鹸一個（一月末日迄）

進呈

謹賀新年

（本社新聞取次店）

基隆市	石坂莊作
瑞芳庄	長木義輝
双溪庄	李金泉
頭圍庄	陳振盛
宜蘭街	張振茂
二結庄	山中万一
羅東街	江副豐吉
蘇澳庄	雨森寅五郎
汐止街	楊建彩
松山庄	周乞食
北投庄	大内清
淡水街	廣瀬彌八
金山庄	張清井
板橋街	蔡敦輝
新莊街	林家柱
新店庄	劉永淋
三峡庄	陳材登
桃園街	蔡阿合
中壢街	鍾新桂
大溪街	呂傳棋
新埔庄	葉心榮
新竹市	沼野作彌
竹東庄	彭錦儀
竹南庄	許萬得
苗栗街	劉天來
大甲街	龍富助
清水街	林顯宗
沙鹿庄	陳璋淯
豐原街	近藤儉助
東勢庄	古山四方吉
臺中市	臺中支局
南投街	山本將茂
集々庄	山本岩吉
埔里街	山下藤太郎
彰化街	林天送
鹿港街	林金榜
員林街	張吉井
田中庄	陳景崧
二林庄	趙金雀
竹山庄	高欣榮
斗六街	黃天經
虎尾庄	陳變
西螺街	陳利水
北港街	龜井亮
朴子街	林金池
嘉義市	眞木勝太
新營庄	岩本正志
麻豆街	黃諒
新化街	林神助
臺南市	臺南支局
高雄市	大坪與一
岡山庄	許有成
鳳山街	小島丑松
屏東街	施宜
東港街	張木松
潮州庄	成澤孝作
內埔庄	黃丁祥
旗山街	佐藤縫三
恒春庄	邵賢諒
花蓮港街	中村五九介
鳳林	加茂忠五郎
玉里	富田麗治
里壠	江幡甲斐之助
臺東街	木下肇
馬公街	加藤誠一



賀正

昭和七年元旦

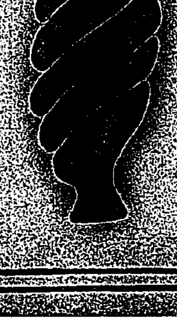
時計と寶石の大提供

官報・新聞・雜誌廣告代理業

旭廣告株式會社

大阪市東區瓦町三丁目 電話本局 五八六八・五八六八 七一九・〇五一六

東京出張所 東京市京橋區西六丁目



きつえん夜話（１）

たばこのみは長生 ―― と申すと語弊があるが ニコチンとつて胃腸を 整へるに丹香錠あり と聞いて ナール程

（つゞく）

肺病必ず治る

權威ある 立證

斷然!!他藥の追隨を許さぬ

結核徹底治療藥

錠劑 レンゴール

◆主藥レンゴールは本年六月十日前安達内務大臣、赤木衛生局長、醫藥界權威者列席、内務省藥業振興會に於て國産優良藥品と決議され全國に推奨されたること

◆專門大家實驗御採用を蒙りつゝあること

◆發賣以來錠劑レンゴールは果して注文殺到し患者の禮狀は日に山積しつゝあること

◆且つ藥品の本場たる獨、英、米諸國へも輸出さるゝこと等はその眞價を物語る明確なる實證なり

殺菌と體力改全の 合理的治肺作用

錠劑レンゴールは効力卓絶の主藥レンゴールに更に貴重なる合理的補佐藥を配合したる優秀な治肺藥である、その主成分は胃に何等の惡作用を與へず十二指腸に於て初めて分解し、腸壁より吸收されて血液並に組織中に深く浸透し强烈なる殺菌力を發揮して堅牢な被膜内に潜む結核菌を撲滅す、加之患者の常に焦慮の種である食欲不振又は下痢等の胃腸障害を回復して頓に榮養を增進し體重の增加を來す、斯くして組織も執拗で頑强な結核菌を撲滅し、組織の病的變化を治癒し、獨特の作用により頑固な結核病巣部を瘢痕狀態即ち俗にかたまると謂ふ狀態に治癒して行くところの最新强力の徹底治肺藥として理想的な藥である

（適應症）肺結核・肋膜炎・腺病質・結核症に因る食欲不振・下痢・胃腸障害 其他一般結核性疾患

〔價格〕[illegible]

●全國藥店ニアリ

●文獻贈呈要郵券二錢

發賣元 富松武助商店 大阪市西區土佐堀通一丁目 電話土佐堀七二七 振替大阪八三八八

東京出張所 [illegible]

第貳拾八回決算報告（自昭和六年五月至同年十一月三十日）

[illegible]

右ノ通リニ候也

昭和七年一月

基隆炭礦株式會社

第二十七回決算公告

貸借對照表（自昭和六年六月至同年十一月）

[illegible]

日華紡織株式會社

第廿七驅逐隊に對し
福州へ出動命令
巡洋艦北上の陸戰隊百名は
四日直ちに上陸す

【東京四日發電通】福州方面は二日來形勢急迫を告げて來たので、海軍では四日◎◎碇泊の敷設艦岡島を福州に溯江せしむると共に馬尾碇泊中の巡洋艦北上より陸戰隊百名を四日福州に上陸せしめた尚海軍では南支一帶の形勢を憂ひ四日佐世保で待機中の第二十七驅逐隊（萱、菱、菫）を派遣するに決し出動命令を發した同驅逐隊は多分五日早朝南支に向け發航の筈

四日午後馬公から
驅逐艦椎福州に出動
草鹿艦長は重傷ではない
直に支那官憲に嚴重抗議

【馬公五日發本社特電】福州における田村總領事並に草鹿北上艦長遭難事件につき馬公要港部では左の如く語った

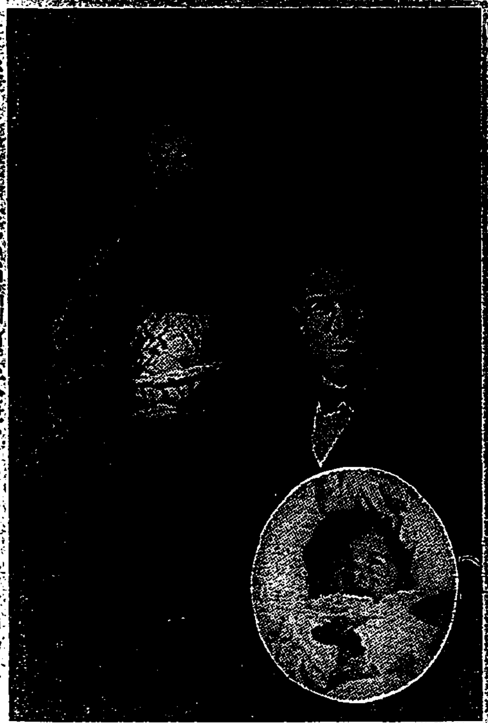
貴社入電の如き事件のあった事は事實であるが、艦長は重傷では全然ない、一月二日午後四時反日會の排日大遊行の群衆と田村總領事、草鹿艦長、杉野砲術長と公園入口で出會ひ血迷ってゐる民衆が石を投げ そこで艦長は輕傷を負ったのでかかる混亂中に支那人巡警がこれを發見鎭壓したのであるが右につきては嚴重抗議を支那官憲に申込んでゐる

尚驅逐艦椎は四日午後福州に急遽出動した

水戸訓導慘死の公電

【東京四日發電通】福州田村總領事發外務省着公電、三日支那暴徒二名福州日本小學校に侵入し臺灣總督府派遣訓導水戸多雄同人妻光子にピストルを亂射し兩名とも死亡した、依って田村總領事は直ちに支那側に嚴重抗議した

慘殺された水戸訓導夫妻
光子夫人の嚴父と兄さんが
涙をかくして語る



慘殺された水戸訓導夫妻（圓内は光子が[illegible]た遺兒）

福州日本人小學校校内宿舍で慘殺された水戸多雄訓導（三〇）は臺北第一師範學校を[illegible]業後臺北第一小學校に勤務し昭和五年四月福州日本人小學校に轉じ同年七月光子夫人（二二）を娶ったが嚴父は福島縣相馬郡新地村で教鞭を執り嚴父と嚴母が健在であり東京の芝浦製作所には實兄が勤務してゐる、夫婦共に[illegible]

慘殺さ れた光子夫人は臺北市文化村六條通の前川孫一氏（五二）の二女で北の悲報を聞いて同家を訪へば嚴父孫一氏と總督府官房調査課勤務の長男昇氏（三〇）は悲しみを包んで物靜かに次の如くに語った

その事に就てはたった今電報が入ったばかりです、光子は臺北第一高等女學校を卒業後家庭にあったがお互に熱心なクリスチャンであると云ふ事が縁となって昭和五年七月臺北で華燭の典を擧げた、そして去年の八月六日に

出産の 爲に單獨歸北し九月二十七日に女兒を分娩しこちらで産後の保養をしてゐたが十一月初旬運動會後の疲勞と風邪で水戸が入院したので光子に歸って來るやうにとの音信があったが何分物騷な福州の事ではあるししばらく福州に歸る事を見合はさせてゐたところ校長からも水戸の[illegible]

[illegible]ふやうなお言葉もあったので十二月一日に子供を連れさして福州に歸したのですがそれが別れになって了ひました

嚴父も昇氏も男の強い意思で悲しみを耐へて少しも取りみだした樣はないが流石に涙をたたえて打沈んでゐる樣子は松の内だけに一層淋しく思はれた

又も高麗門に
匪賊が襲來
放火して大山火事

【奉天四日發電通】昨夜安奉線高麗門に數百の匪賊襲來し附近山林に放火し大山火事となった

約一千の匪賊
新民府を襲擊
日本人のみを目標として
各所に凄慘な市街戰を演ず

【新民府四日發電通】四日午後七時半新民府東入口に突如一千餘より成る匪賊團襲來し我守備兵隊に向って發砲猛威を振ひつつ進擊し來たので我軍は直に應戰苦戰を續け流彈は市中目抜きの場所にも落下し住民は戰々兢々外出する者なく消燈して難を避けた

【新民五日發聯合】午前二時昨夜七時半突如市の西方に銃聲起り間もなく[illegible]起り更に全市各所一齊に銃砲聲湧き起り我守備隊即刻出動するや各所に市街戰が開始され全く阿鼻叫喚の巷と化したが右の如く匪賊は市街東西より挾擊の戰略に出でしかも日本人のみを目標においた所を見ると計畫的らしい

病院まで襲擊

【新民府四日發電通】四日夜來襲せる兵匪は公安隊を襲擊し市中に入込むや日本人住宅を片っ端から襲擊掠奪を敢てし新民病院を襲擊した賊は敗戰逃走の公安隊騎馬隊が中心だと見られてゐる

領事分館に手榴彈

【新民府四日發電通】兵匪の集團は四日午後九時五十分襲來したもので領事分館に手榴彈を投げ機關銃の雨を浴びせつつあり領事分館守備の松崎中隊の折川一等兵は負傷し全市は燈火を消して暗黑の街に銃砲聲のみ響き渡ってゐる

邦人の死傷者

【新民府五日發聯合】午前一時三十分現在に判明せる邦人死傷者名左の如し

即死水田強北（四二）水田弘（一〇）木谷九吉（三五）△負傷内藤宗利（二七）憲兵隊通譯氏名不詳[illegible]外に行方不明二名の氏名はまだ判明せず

敵は午前三時に退却

【新民五日發聯合】敵は午前三時には完全に退却したものの如く時折銃聲を聞くのみ午前三時[illegible]に發見された敵の遺棄した死體三十だがその外に相當重大な損害を與へた模樣である

[illegible]中の重砲第二大隊の兵七名にてこれを擊退したが交戰中便衣隊の猛射に遭ひ我兵七名中三名の重傷者を出した

電信電話は不通
一邦人は家を燒かれ
妻子を慘殺さる

【新民府四日發電通】兵匪の襲來は夜に入りて益々猛烈となり電信電話不通となり邦人被害の判明せるものは

一、廣善醫院長内藤[illegible]息中學二年生重傷

一、永田某は家を燒かれ妻子は慘殺さる

一、兵頭某は掠奪され重傷を受く

其他損害多數である

錦州城内に
便衣隊襲來
我兵三名重傷

【錦州五日發聯合】昨夜十一時半頃錦州停車場から城内に至る目貫の場所に約三十名の便衣隊襲來[illegible]

山海關方面
平靜
ただ馬賊侵入を警戒

【山海關四日發電通】我軍の錦州占領に山海關の支那側は一時動搖したが漸次平常に復し駐屯の第九旅もその動靜平常と異ならず城外より馬賊侵入の恐れあるので我守備隊は依然警戒を嚴にしてゐる

北寧へも出動

【奉天四日發電通】鐵路旅團の[illegible]

[illegible]歩兵○○聯隊は四日午前七時[illegible]○○聯隊は八時夫々北寧線方面へ向った

大每特派員は
依然消息不明
同伴支那人の
死體は發見

【錦州四日發電通】我軍錦州入城の際行方不明となった大每特派員芽野榮氏の消息はその後極力搜索中の所四日に至り氏が同伴せる支那人の死體を石山站附近にて發見したるも本人の行方は依然として不明である氏も亦遭難せるものと見られる

學良は國防の
責を盡さぬ
馮玉祥は語る

【上海四日發電通】馮玉祥は本日記者に對し左の如く語った

學良は國防の責を盡さぬもので滿洲は勿論北支も彼に任せて置くことは出來ぬ、近く召集の國難會議で要求を提議する

灤州、昌黎で
兵變を起す
錦州軍が掠奪暴行
同地大混亂に陷る

【天津四日發電通】灤州方面に撤退せる錦州軍は灤州、昌黎一帶において兵變を起し掠奪暴行を初めたので同地は遂に大混亂に陷った

徹底的解決を期待
水戸訓導夫妻の慘殺事件は
天人共に許さぬ暴行

福州の反日は表面下火になったやうに思はれたが福州はどうして益々陰險に底流してゐた、特に省政府が[illegible]で右傾左傾してゐる處に[illegible]を望む大小政客が入り亂れて策動してゐたので何時か物騷しはせぬかとは一般から非常に憂慮されてゐた、首席楊樹莊が下野してからは

非常に 騷が烈く、一方保安處長の方聲濤は廣東派によく[illegible]に代らんとしてゐた、[illegible]が上海から遽に福州に潛入して政權を狙ってゐることも事實らしく、[illegible]

[illegible]廣東派策動の渦中に卷込まれてゐるといってよい、市中にある二十餘種の大小新聞は筆を揃へて連日反日を

煽り立 ててゐるし、錦州はたうとう占領されてしまったし一般民衆が愈が上に反日氣分にひたりきってゐる譯である、田村領事が草鹿北上艦長や杉野砲術長の二人を案内して襲はれた西湖公園は[illegible]から一里ばかりはなれた地點である城内の北部になってゐる、市中には[illegible]

天人と もに許さざる一大慘事である、同氏は小學校の階下一室に夫妻と子供の三人で起居してゐた、教室を改造しただけで廊下は誰でも自由に通れるし小使も宿らず廣々とした校舍の一隅にあって野中の一軒家と同じである福州居留民中最も無防備な危險に晒されてゐた、領事館や邦人[illegible]は誰も狙はれてゐたのでどちらも[illegible]の方法で警戒してゐたのでここには手を出さず警戒のない小學校に手をのばしたのは彼等が如何に卑劣の作意を[illegible]

計畫的 [illegible]

かは[illegible]を許さぬが個人的にも又職業的にも支那人とは殆ど[illegible]の水戸氏を襲ったのは全く民衆の犧牲にされたものである、居留民は大會を開催し大いに輿論を喚起し徹底的に膺懲を望んでゐるのは當然の事であらうが政府もここに至っては必ずや居留民の意に添ふ事と信じられる、軍艦北上は九江下流の

馬尾に あり作業艦岡島も[illegible]に陣を張り陸戰隊も百名上陸したのでもう警備については手ぬかりはなからうが彼等の手段は正攻法によらぬので油斷もすきも出來ない譯である、政情不安、排日[illegible]、反日の大官等といった具合に惡條件揃ったところへ[illegible]が起れば結局日本で治安を維持せねばならなくなるかも知れんが、これが一般民衆の望むところであらういづれにしても事件は國際問題として益々紛糾する事であらう[illegible]

重光、陳兩氏の會見
兩三日中に實現
直接交渉其他の
重要決定を見ん

【南京四日發聯合】國民政府機關中央通信社の報ずる所によれば、外交部長陳友仁は近く我重光公使と新政府組織後最初の公式會見を行ふ筈で、目下上海にある上村南京領事はこれが準備を急ぎつつあると、右會見は此兩三日中に實現されるものと見られてゐるが、會見の結果は日支直接交渉初め滿洲諸案件に關し重要な決定がなされるものと期待され、[illegible]な注目を惹いてゐる、右會見の結果日支緊張問題が圓滿解決を見た曉、日支兩國公使館はそれぞれ大使館に昇格されるであらうとの噂が專らである

參謀次長の親補
九日か十一日
阿部信行中將の
臺灣軍司令官親補と共に

【東京四日發電通】參謀次長の更迭及び教育總監部本部長の親補に伴ふ陸軍の異動は九日若くは十一日宮中において親補式擧行の事となったが、異動の内容は左の通り決定した

補臺灣軍司令官　第四師團長中將　阿部信行

補參謀次長　臺灣軍司令官中將　眞崎甚三郎

補第五師團長　參謀次長同　二宮治重

補第三師團長　工兵監同　若山善太郎

補第四師團長　第五師團長同　伯爵　寺内壽一

補教育總監部本部長　第三師團長同　川島義之

補步兵第七十六聯隊長（羅南）　參謀本部支那課長　步兵大佐　[illegible]千秋

補參謀本部支那課長　第五師團參謀長同　若松[illegible]

補第五師團參謀長　步兵第七十六聯隊長同　[illegible]

日本の眞意を
新政府理解
首相の特派使節
萱野長知氏語る

【上海四日發電通】國民政府成立と共に對日直接交渉を開始して日支紛爭を解決したいとの氣運は既に政府要人間に醞釀されてゐたが最近益々その氣運熟し遠からず重光公使と外交部長陳友仁との間に

第一回 會見が行はれるものと觀ぜられてゐる、右に關し犬養内閣成立と同時に犬養首相の特派使節として派遣され新國民政府要人と約二週間に亘り要談を重ね上海に歸來した萱野長知氏は語る

新政府は日本の眞意を充分理解し[illegible]ては言へぬが遠からず行はれるものと思ふ

尚同氏 は特派使節として交渉を政治的に進めるため引續き當地に滯在する筈

佛紙支持
直接交渉を
この他に解決
方法なしと

【パリ三日著電通】佛の半官紙ル・タン紙は本日の社說で日本軍の錦州占領に付き論じ[illegible]

[illegible]に就ては解決方法を有してゐないのである

と日支直接交渉を支持した尚日本軍の錦州占領については論評には格別反對はない

初交換高
大阪手形交換所
十四年ぶりの少額

【大阪五日發本社特電】大阪手形交換所における一月四日の初交換高は枚數十六萬九千三百八十六枚金額七千三百八十七萬七千円であるがこれは大正八年十一萬九百八[illegible]十五枚八千四百七萬三千円以來の少額にて十四年振りの小額にして年末の不況は益々深刻にして殊に手形の出廻りは近年になき[illegible]を示せるも小業界を初め商取引は甚だしく姿勢不振を極めこれが影響を如實に反映したものである

腹背より匪賊の
襲擊を受く
猛烈な肉彈戰で
遂に大敵を擊退

【鞍山四日發電通】鞍山西方劉二堡方面の有力な匪賊討伐の爲め四日朝出動した鞍山守備隊北部大隊の[illegible]○中隊は、四日午前十時半劉二堡の手前にて砲臺門を有する六百の兵匪と遭遇激戰し、敵は頑強に抵抗したが遂に西北方に退却したので我軍はこれを追擊、大泡子附近に到るや突如背後より砲十門を有する大部隊の襲擊を受け、此の時北部大隊以下全滅と見えた、此の時北部大隊長は悲壯な決意を極め決然陣頭に立ち突擊し、兵士も銃劍を執りこれに續き猛烈な肉彈戰を續くること一時間、敵は死體七十[illegible]を遺棄逃走した、我軍は重傷三名を出した

良法であるとは支那が再び[illegible]に[illegible]るよりも遙かに良好な結果を得るに相違ない[illegible]はこの[illegible]

六日に初閣議

【東京四日發電通】政府は六日午前十時より初閣議を開くことに決定した

滿洲都督問題
進展を見ん
參謀は植田中將か

【東京五日發電通】來る十日南大將の滿洲よりの歸京を待ち滿洲都督問題が進展を見るべく軍部内府間に折衝されるが、初代都督には南大將、都督參謀は第九師團長（金澤）植田謙吉中將が有力で右の通り内定してゐる模樣である

[illegible]の中[illegible]日く「僕も福州にゐると危險だったかも知れない、何しろ福州では領事と僕との首に一萬圓の懸賞がかかってゐますからね、でも僕が福州にゐて用心棒をつれて艦長などを案内したら、あんな不祥事は起らなかったかとも思はれます、反日會員の連中とも顏見知りでありますし然し厄介な所ですよ」

辭令（東京四日發電通）

拓務省殖産局長心得兼文書課長　[illegible]谷和一

免文書課長兼務　拓務書記官　永井四郎

命文書課長

人事

▲土方成美氏（東京帝大教授經濟學博士）五日南部より來北（鐵道ホテル）

▲福原信三氏（東京資生堂社長）四日夜南部へ、六日來北の筈

▲波多野岩五郎氏（元[illegible]社社長）五日來臺（吾妻）

▲飛田信氏（神戶市會議員）四日南部へ、六日來北の筈

▲關口高次氏（神戶汽船取締役）六日內地へ

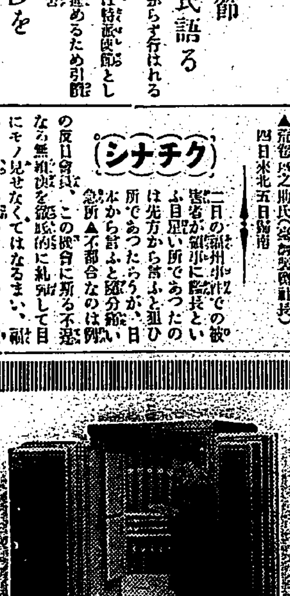
▲中尾都山氏（尺八都山流宗家）五日來臺（鐵道ホテル）

▲木村民次郎氏（帝國生命臺南監督所長）來北中（吾妻）

▲荒卷兵之助氏（臺灣製罐社長）四日來北五日歸南

（シナチク）

二日の福州事件での被害者が領事に艦長といふ目立い所であつたのは先方から言ふと狙ひ所であつたらうが日本から言ふと隨分痛い急所▲不都合なのは例の反日會員、この機會に斯る不逞なる無頼漢を徹底的に糺彈して目にモノ見せなくてはなるまい、福州の居留民が騷いでゐるのも無理ないが、[illegible]にゐる南支關係者なども不逞支那人の頸の鉢直しをやらせるのは此の時だと意氣込んでゐるさうだ▲鈴木海軍武官曰く、「福州の出來事は全く計畫的です、馬尾には北上の外に五日朝頃[illegible]が着いた[illegible]、[illegible]、之に佐世保の驅逐隊が派遣されるとすると相當の陣容が揃ふわけです」▲



迎春と共に
各位の御健全を祝す

金庫の藤川

臺北市　藤川吉久

謹賀新年
食道樂　二鶴本店　電話二三二番

第十四回 自動車講習生募集
公認臺南自動車講習所

◉新春と共に
新らしく大活動
ベストサービスの
カフェー　天國
御成町（大正街驛前）電話三五八一番
女給　品位ある御方を數名至急入用

羽生國彥

大和丸　吉野丸

おめでたう

臺北市内の著名なる各商店（順序不同）

袋物小間物専門並に和洋雑貨　勉強店　臺北市京町一新店舗　**村西袋物店**　電話一九五三番

洋服と既製品と服地　断然他店の追従を許さぬ　弊店の勉強振りを御覧下さい　古川獨特の高級既製品　新品豐富荷揃ひ　臺北市京町一新店舗　**古川洋服店**　電話一七八六番

化粧品　洋雑貨　卸　小賣　臺北市京町二丁目　電話六四一番　**西川商店**

初春の御旅行には　**内山の鞄と靴**　◇新調修理御好みに應じ迅速に調製致します　臺北市京町一丁目　電話二七二五　新高運動靴販賣元　**内山鞄靴工場**　西門町市場前　電六〇　内山工場賣店

ビツクリスル程安くて　最も新しい和洋雑貨の御用命なら　臺北市京町一丁目（新高旅館前角）　勉強の元祖　**中村商行**へ　電話二六二八番です

高級**レデーメード**豐富　◆親切と迅速　◆服の御用は　◆品質と値段　臺北市京町一　**吉井洋服店**　電話一三八三番　本年も相變らず御引立願ひ升

新年の御用意は野口はかま店へ御利用ください　臺北市京町一丁目

品質本位の新商店◆　靴と鞄の薄利多賣　臺北市京町一丁目　電話二三五七六番　**大正堂靴鞄店**

新春の新しい品が揃ひました　牛ゑり小間物　化粧品の御用は　臺北市京町郵便局角　電話三〇五〇番の　**夏川分店**

◉**糸と綿**　お正月の御家庭に　**毛糸と各種糸類**は　糸物商の　臺北市京町　**秋本糸店**で　電話は三〇〇七番二五九番です

◇初春和洋雑貨と羅紗製品の新荷が　毎日に荷揃ひました　是非一度御覧下さい……　（京）**川崎商行**　臺北市京町　電話一〇一〇番

萬年筆の御用命は専門店の　京町一　**ヒゴヤ**へ　電話一五三二番

プラトン文具代理店　クラブ化粧品　カテイ石鹸　クラブ石鹸　總代理店　クラブ美ビル製品配給所　臺北市京町二丁目　**神木洋行**　電話一二一一　振替一四五八番

勉強店　専門店　**子供**　靴下靴類　洋服帽子　臺北市本町二丁目　**行成商行**　電話（七二〇番）振替臺灣一六六七番

初春の御家庭に　昭和の日本音楽なら　ナンデモ揃つた臺北市京町通りの　**吉田屋樂器店**で

最新和洋雑貨なら　臺北本町の　**瀧村兄弟商行**　電話八六番で

最新柄の　**洋傘とショール**　専門　臺北市本町　電話四六六番　**日進洋傘店**

初春の最新の高等文具が豐富荷揃ひ致しました　臺北市本町二丁目七番地　電話一〇二〇番　**恵比壽屋商店**

安くて各種豐富　帽子は専門の臺帽に限ります　臺北市本町通り　**帽子専門店　臺帽公司**　電話二四六五番

食膳には最も新しい品の揃ふた伊田の食料品を　内地土産各地のお土産物も揃ふて居ります　和洋酒類　洋食料品　臺北市本町二丁目郵便局通り（電四五五番）　**伊田商店**

洋服と帽子は　臺北市本町二丁目　**スミカ洋服店**　電話長一六一一番

御雛人形　教育玩具　卸商　臺北市本町　**村山商行**　電話一五三一番

萬漬物類　食料品　問屋　臺北市榮町　**酒巻本店**　電話五一七番　店主村山彌生

◉内地土産と云へば　**全島の珍品が良く揃ふて居る**　臺北本町の　**生蕃屋本店**　電話五一〇番

◇初荷で入荷した　最も新しい新品の和洋食料品が　皆様のお待ち申して居ります　臺北本町　電話一七八番　清酒澤之鶴移入元　**笹川商店**

初春の御用意に　**和洋雑貨と宣徳火鉢**　飯掛火鉢美術床置物花道具　臺北市本町二丁目　電話一一二番　歐米雑貨　**松原商行**

初荷豐富入荷　初春の御旅行に……　**鞄と靴と云へば**　最も勉強する弊店を　刑務所作業品取扱所　臺北市本町　電話一六〇一番　革工商　**森田商會**　▼基隆市義重町　**森田商會基隆支店**

新柄の洋傘とショールなら　臺北本町郵便通り　電二四三三番　**三和洋傘店**

◉**御履物は日ノ原で**　特許二三倍傘と　臺北市本町三　電三四六二番　**日ノ原商行**

御菓子　臺北市榮町三ノ五　**梅月堂**　電話六四八番

藥品一般　新藥一般　著名賣藥　度量衡器　化粧品類　勉強と親切　臺北市　電話九一一番　**廣生堂藥舗**　電話一九八九番　榮町四丁目

臺北　**玉屋婦人服店**

臺北市榮町二　電二二三番　本店　**新原金物店**　共榮商會前頭　電一五二番　新原支店

◉**石綿フレキストーン　ルーフイング**　●他に類なき品質優良品　臺北市榮町　電話九六番　**共榮商會**

イツモ新シクテ美味イ　喫茶店と云へば　榮町の　**新高喫茶店**

確實　本眼鏡と金銀細工　位金屬品とサンゴ　臺北市榮町　電話一八三番　**末吉山金堂**

全島特産各種珍品豐富にて　最も勉強と親切なる　臺北市榮町　電話九七四番　**山一物產販賣所**

賀正　新春の高等靴の御用と　運動靴及び附屬品は勉強専門の　弊店を利用願ひます　臺北榮町電話交換局裏バラツク製靴所　電話九三八番　振替一二〇八　**加納屋靴店**

自轉車の選定と　修繕なら親切本位の　榮町四の（臺日社前）電話一八六四番　**千代田組**に限ります

諸紙文房具　卸商　御官衙用達　臺北市榮町二丁目　電話五二九番　**江里口利三郎**商店　臺北市榮町一丁目　電話五〇五番　**江里口印刷工場**

家庭には是非弊店を御利用下さい　世帯道具　金物類　臺北市榮町四丁目　電話五八三番　**石内商店**

川創鰹節製造販賣　**海陸物產**　長崎カイ石鹸　印最上醤油　乾魚罐詰諸油　臺北市榮町四　電一三三四番　**金柿商店**

小供服並に服地　臺北市榮町四　電一〇七一番　**ハトヤ小供服店**で

指定御用達　靴鞄商　合名會社　**巴商會**　臺北市榮町二丁目　電話一五八七番

確實本位の鎌野の時計　**貴金屬品**と記念**メタル**なら　最も勉強する臺北榮町の　**鎌野時計舗**で　電話は八二一番です

アーテルカラー（雨傘）臺灣總代理店　**ミツワ印メリヤス**特約店　菊水印加工品發賣元　和洋雑貨足袋布卸商　臺北市榮町三丁目　**奥野常太郎商店**　電話九一六番　振替一七三番

初春の御所望に　宣徳火鉢　花瓶掛　美術床置物朱檀製茶棚　花道や水盤　盛花生花　其の他　**大特賣**提供　▲宇治茶▲紅茶▲烏龍茶▲各種　臺北市榮町　電話二五七四番　**盛進商行茶舗**

安い自慢の**陶磁器**　**均一専門**も有ります　本店　臺北市榮町　電話九九六番　支店　臺北西門市場新築內店　**中林陶器店**

春のお仕度は勉強の専門店　臺北市榮町　電話二四二八番　蒲團、座布團、毛布、綿、蒲團地　**秋本蒲團店**で

明けましてお目出度う　本年は尚一層全島の特産物や珍品を豐富に取揃へ勉強専一に致しますから御旅行の節は是非御引立願ひます　臺北市榮町四　**三共舍臺灣物產店**　電話七一六番

御履物　洋雑貨　臺北市榮町三丁目　**藤澤本店**　電話四五一番　支店　西門市場電話扱内二〇番

新春の洋服の御新調なら　臺北市榮町二丁目　**奥本洋服店**　店主松島吉之丞

臺北市榮町一ノ八　**堀谷洋服店**　電話一六四四番

初春の嶄新なる和洋雑貨豐富荷揃ひました　勉強専門店　臺北市榮町二丁目　電話九八七番　**山田洋服店**

お正月の極面白い　パーロホンレコード　新譜が沢山入荷致しました　臺北市榮町二丁目角　**パーロホンレコード**發賣元　**辻利茶舗**　電話九四番

お望みの世帯道具が全部揃ひます　臺北市榮町二　電一八三六番　**大倉分店**

輕くて丈夫な　**ノーリツ號**

株式會社　岡本製作所　臺灣配給所　臺北市榮町　合資會社　**小林商店**

疊表の御用命は松山の製莚工場へ　貴金屬と眼鏡・時計御用命は　臺北市榮町　電二〇八一番　**平川商店**

勉強と親切に確實本位の**呉服と古著**は　臺北市臺日社前　**阿部商店**　◉**貸衣裳**も致します　臺北市榮町　電話三二八五番

寫眞の事なら専門の弊店を御利用下さい　臺北市榮町二丁目二六　電話二九五四番　**フタバ寫眞器部**

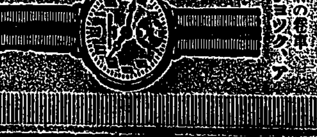
蓄音器と修繕は　臺北市榮町　電話六四〇番　**美正堂**

弊店春衣の大勉強振りを見て下さい　呉服古著商　臺北市榮町三丁目九番地　電話七六八番　**たつき衣服店**

陶器御小賣商　お望みの品が迅速に出來ます是非一度御覧下さい　臺北市榮町二丁目　電話長八一一〇番　**富村商店**

洋服の御用命は　**秋元洋服店**　秋元昭吉　臺北市大和町二丁目

◆勉強する店◆　**洋家具と椅子**の御註文なら　最も勉強する弊店へ是非御用命を　臺北市大和町二　電話一一九八　**久保椅子店**



ハフイス腕時計

選定は確實なる**ハフイス時計に限る**

ハフイス時計の十大特徴

一、ハフイス時計は（瑞西無比なる技術）濕氣の多い日本に最も適する事
二、ハフイス時計の天府のヒゲが寒暖の變化を受けぬ事
三、絶對に錆びないハフイス時計の巻車
四、振つても落しても狂はぬ（ショツク、アブソーバー）事
五、芯軸の摩滅を防ぐ（スチール、クランド）
六、簡單に掃除し出來る事
七、時間の調整に留意してある事
八、時計側（日本印度厚側を用ふ）（白金18ホワイトゴールド、十八金、クローム、ニッケル等）
九、部分品の取揃（部分品を常に取揃へてハフイス時計専用材料によつて修理の完璧を期す）
十、對入り絶大なる事

臺灣代理店　臺北市本町　**盛進商行**

臺北名物　**メロー商會**　臺北市本町一丁目（電話二三五番）

ヒコウ靴製造發賣元　**ヒコウ商會**　臺北市若竹町　電話三五七七番

加福炭屋　臺北市東門町百三十番地　電話二九八三番

和洋美髪　市橋　大和町二ノ五　電話一五九五番

やけず　さびず　くされず　**アスベストセメント製淺野スレート**　臺北市北門町　電話一二三四番　**淺野スレート工事部**

◉**タクシーはマルケン**　陸軍保證ダツト自動車臺灣總代理店　臺北市　電話一八三・三二八・二一八番　水上同濟本店　水上同濟支店　店主小宮山傳太郎

初春のお休みに　本の御用は安上りの　**池森書店で**　臺北市新起町　電話三七六七番

初春のお化粧に　化粧品と小間物は　**池森小間物店で**　西門市場仲店

內地三都市一流大書店の注文に追はれつゝある平光書店　本年も相變らず內地十五の書肆名所の寫眞と御不用の書籍は是非一度賣も買も　花札、マーチヤン、トランプ品揃ひ　西門市場出所前　新起町一　新古刊籍賣買　電話三〇八〇番　**平光書店**

提灯及材料　雨傘　卸商　臺北市新起町二丁目　**柏屋商店**　電話九四四番　振替臺灣二四六〇番

灘の生一本　特約店　銘酒　**忠勇**　若林合名會社釀　**桑田商店**

謹賀新年

馬公要港部 **湯地秀生**

馬公要港部 **水戸春造**

澎湖廳 **本間善庫**

馬公街長 **三浦光次**

馬公重砲兵大隊 **木全良雄**

澎湖衛戍病院 **近藤佐太郎**

澎湖廳 **道山保**

澎湖廳 **田中賢三**

澎湖醫院 **畠山長作**

山宮忠藏

澎湖郵便局 **宮澤廣佐**

澎湖廳 **三田村茂樹**

澎湖郵便局 **平林實男**

臺灣總督府專賣局馬公出張所 所長 **富田四郎**

馬公 **上瀧利雄**

稅關馬公支署長 **松尾幸四郎**

陸海軍御用達 澎湖土產 マクロメ ソース 羊羹 最中 **千壽堂** 和洋生菓子 馬公重砲兵大隊東側

湖西庄助役 **平間鶴吉**

澎湖測候所長 **橋本敬藏**

臺南地方法院馬公出張所 **兼重民雄**

料理仕出し **田殿市松** 澎湖醫院酒保部 電話六四番

和洋御料理 馬公街馬公 **乙姫** 電話四〇番

産婆 馬公街馬公 **青木ユキ** 電話一二五番

馬公街馬公 **池田醫院** 電話一六番

澎湖製氷株式會社 取締役社長 **林全福** 電話一四四番

七福堂薬房 電話七〇番

食料品雜貨商 **多久島商店** 電話六九番

有村寫眞館

陸海軍御用達 **永聯泰商店**

富士屋洋服店

馬公街馬公 **坂井書店** 電話一二七番

山本清九郎商店 馬公市場構内

陸軍糧食品御用達 **日進商店** 馬公市場内 電話一〇四番

浦島カフエー 馬公街馬公城外 電話一三五番

洋食 マルフク喫茶部 馬公第二棧橋内 電話四六番

會席御料理 **饗來** 馬公街馬公 電話一九番

有限責任 **湖西信用組合**

有限責任 **白沙庄信用組合**

有限責任 **西嶼庄流通信用組合**

澎湖廳馬公街馬公 **澎湖信用販賣組合**

有限責任 **澎湖共通信用組合** 電話三五番

馬公街馬公 産婆 **糸數カマト**

大久保百貨店 澎湖廳馬公街馬公 電話一〇三番

富士田吳服店 馬公街馬公 電話六七番

澎湖廳馬公街城外 **馬公貸座敷組合**

陸海軍糧食品御用達 太平生命保險會社代理店 **鯛** デンブ 花ガツヲ 製造 馬公市場内 **發商店** 電話一二二番

新案特許優良セメント瓦(内地形) 上滝式 改良 **理想瓦** 工場所在地 馬公 上瀧組 臺北 臺中 村瀨末吉 臺南 海野組

澎湖廳 **池田佐七**

澎湖廳 **青柳和吉**

馬公街會計役 **上野滿藏**

澎湖廳 **大塚忠太**

澎湖廳 **吉良貞雄**

馬公街役場 **藤井清**

馬公街助役 **副島官市**

馬公第一公學校長 **篠原武熊**

馬公小學校長 **內田增太郎**

澎湖水產補習學校長 **富澤愼**

後寮公學校長 **富永五六郎**

馬公第二公學校長 **林虎次郎**

湖西第二公學校長 **安部馬太郎**

澎湖島特產 陸海軍御用達 **宮崎商店** 馬公街馬公市場前 電話一三二番

西嶼庄長 酒類賣捌人 馬公街馬公 **鍾鉅** 電話五三番

馬公 **井手吳服店** 井手英孝 電話六三番

忌中に付年始の禮を缺く 馬公 **山口商店** 山口信行 電話三三番

望安駐在 公醫 **佐藤乾**

馬公 **伊東正成** 電話二六番

梅津昌 臺銀支店

建築、造船請負業、ドックを有す 馬公 **大渡又次郎** 電話一五番

馬公 **馬公カフエー** 電話一五番

煙草元賣捌 **稻田岩一郎** 電話一四五番

青木[illegible]**紀**

筒井勝次 馬公街馬公 電話一三〇番

臺東 **兒玉魯一**

臺東 **江口幸市郎**

臺東 **淺野義雄**

有限責任 **馬公融通信用組合**

海軍糧食請負御用達 **西室直次郎**

馬公街馬公 **糸永直太**

醬油製造販賣商 **吉田龜太郎商店**

馬公書店

西嶼水產振興公司

馬公棧橋通り **丸八旅館** 電話九番

貸家業 馬公街馬公 **合昌材木商行** 電話二五番

澎湖文庫 馬公街馬公 電話一五〇番

馬公街馬公 **愛知堂時計店**

臺東 **森輝夫**

臺東醫院職員一同

臺東街協議會員
松茂良興祥
飯干太加次
陳振宗
日夏四郎三郎
松井金二郎
平尾龍雄
久藤悅太郎
林舍
陳冬路
賴金木

臺東街 **中村源治郎**

臺東街 **新港自動車商會**

臺東 **重森確太**

臺東街寶町 雜貨商 **增永商店** 電話三〇番

喪中年賀の禮を缺く **岩花政之助**

長谷川直吉

藥種 化粧品商 文具類 **松井保生堂**

臺東ホテル

臺東街寶町 **木下菊生堂**

新榮發商店

オラガビール 臺東一手販賣 **金光堂**

臺東 土木建築請負業 **大島組**

財團法人 **臺東保護會製作品販賣所**

大阪商船會社代理店 株式會社 **櫻組**

有限責任 **臺東信用組合**

臺東廳職員一同

臺東廳各支廳開導所職員一同

臺東廳各小學校各公學校職員一同

臺東廳下公醫一同

臺東廳下各區役場職員一同

鹽水港製糖株式會社

明治製糖株式會社

臺南州曾文郡麻豆街

東京事務所

東京市麹町區丸之內

満蒙物語
日本國民の生死に關はる！
改めて満蒙を見直せ
東洋生

「ボイクト」や「馬賊の唄」などの呑氣な語で濟ましてゐた満蒙。多くの日本人が唯それだけしか知らなかつた満蒙、それが今日では日本國民の生死に關する重大問題となりて來てゐる。イヤでも應でも、好きでも嫌ひでも、満蒙の天地は、日本及日本人の運命と離れることの出來ない關係に結びつけられてゐる。まことに因果な話である。

◇

奉天城外、南満鐵路の柳條溝附近、閑に就く銃聲一發、満洲事變は何が爲に起つたか。言ふまでもなく日本が滅亡するか、興隆するかの問題に直面したからである。満洲は廣い。そして無限の物資を藏してゐる。而も住んでゐる人間が極めて少ない。この反對に日本は狹くして物資が少ない。そして人間は多い。そこで日本人の手で、手をつけることの出來ずにゐる満蒙の物資を開發して、共存共榮の實を擧げやうと言ふのが日本の満蒙に對する大精神なのである

◇

然し國民の大多數は満蒙の事情に關して、満洲事變解決に乘出した因縁關係あたりを[illegible]ふことの出來ない程、正確な認識に缺けてゐはせぬだらうかと疑はれる。東洋平和の爲め、延いては世界平和の爲め、日支共榮の大目的を達成するには、國民の大多數が満蒙の事情に無智無興味であつてはならない。國民全體の満蒙に對する正確なる認識、これに依つて生れる擧國一致の支持無くしては、容易ならざる困難とも云ふべき今日の満洲問題の解決は望まれない。今日の急務はまづ何を措いても改めて満蒙を見直すことである

地理的特徴

一口に満蒙といふけれども、茲に云ふ満蒙の地域は大體遼寧（奉天）、吉林、黑龍江の所謂東三省と東部內蒙古と稱すべき熱河省を指して云ふのである。その面積は東三省が六萬五千餘方里、熱河省を併せて總面積は四萬三千餘方里の二倍半より更に廣く、日本內地だけの面積二萬四千餘方里と比較すると三倍強に當つてゐる。而も此處に住んでゐる人口は約三千四百萬位で日本內地の人口の約半分といふ割合である。一方里當人口密度から云ふと遼寧省は內地の一、三〇二人に當り、吉林省は五三・七人で我が北海道の四三・七人よりもやや密であるが、黑龍江省の一三・二人に至つては我が樺太に比較すべきものがない

◇

大連から奉天、長春を經てハルビンまで約六百哩、東京から三田尻までの距離に匹敵するのであるが、その間にトンネル一つ無い。見渡す限りの平原を四哩八時の驅動列車が南から北へ一直線に敷かれた軌路の上を走つてゐる。朝、東の地平線から上つた赤い太陽は夕方西の地平線に落ちて行く。文字通り沃野千里、眼界として限がない。と云ふと満洲には山は一つも無いやうに聞えるが決して山が無い譯ではない。大興安嶺を初め南満洲、主として安奉線沿線の諸山脈、長白山脈等が何れも北東から西南に連つてゐる。この事實は満洲ばかりでなく、東部亞細亞の大勢とも云ふべきであつて、日本諸島を形成する線も大體同一の現象であるといふことが出來る

◇

一體、満蒙には高い山が無い。一番高いので長白山脈の頂上と謂ふ白頭山であるが、これとても僅か二七四四米で日光の白根山より一寸高い位の高さに過ぎない。其の他は何れも千米以下である。大興安嶺の如きも東側の平地から見れば山形をなしてゐるが、西側のゴビ方面から見れば平坦なる臺地に過ぎないのである。斯の如く満蒙の山々は、どれもこれも似たやうな高さでドングリの背較べをして、ゐてその頂點を結ぶ一線は殆ど◇水平をなしてゐる。これは地形上の著しい特徴であつて平原と云つてゐるのである。といふ平原が満洲全部ではないけれども、だから平坦の平原が廣く平原大であることは爭はれない事實である

◇

満洲を訪れた人ならば誰でも經驗することであるが、満鐵本線の車窓に現れて眺める遼河流域の、南満洲の平原の廣いのに驚く。然し更に大なる平原は長春以北、松花江及び黑龍江の北部、嫩江の流域より興安平原へと連なるもので、視野は悠々萬里の平原を展開し、近き將來における満洲の穀倉はこの北満洲の平野にあると嘱望せられてゐる。東部蒙古の平野は砂漠性である。外蒙古のゴビは今は固有名詞の如く用ゐられてゐるが、ゴビといふ言葉はもと蒙古語で砂漠のことであると云はれてゐる

◇

河川の大なるものは黑龍江及びその支流たる松花江、嫩江、烏蘇里江、それから遼河、鴨綠江等で、この間に大小幾多の支流が介在して、満蒙十萬五千方里の満蒙の地域を貫流し、舟楫の便を與へ、農耕灌漑の利を惠んでゐる。満蒙の河川はどれもこれも滔々として、山紫水明を誇る日本の河川とは比べものにならない。これは乾燥少雨、酷寒の季節が長く濕度の變化による岩石の崩壞作用が盛んだしいためである。即ち満洲の地表を蔽ふ多量の粘土層其の他の微細分子が水量に比して多量に河水に混合するからで、それこそ百年河清を待つたところで河水の澄む時はないのである

◇

満蒙の氣溫は大陸的で一年中の最高最低の差が非常に劇しい。奉天、長春に於て六十五度から七十度、ハルビン、チチハル等では七十七、八度に達する事が珍らしくない。これを日本內地の二十度內外の差三十度と比較するときは、その差の如何に甚だしいかが想像することが出來やう。極寒の時はハルビン、チチハル等では零下三十度から四十度以上になる事もある。そして一日の中でも氣溫の變化が劇しく晝夜の差が二十度に達する位は決して珍らしくない。この變化は又、數日の周期を迴つて現はれ特に冬期において著しいのである。所謂三寒四溫である。三日位寒い日が續くとその後四日位暖かい日が續くからである

衣食住

満洲は満洲民族の郷土である。彼等は山地に起つた山地人として大膽にして勇敢であることは、平地人などの足元にも及ぶものではなかつた。これは地理的環境によつて永い間の山地の狩獵生活から得たものであると言はれる。そして途には大清帝國を創して支那四百餘州を掌握したこともあつて、所謂満洲族人が清の朝廷に從つて北京（今の北平）方面に移つた際は満洲は一時空虛になつたといふ珍らしい實情があつた。所が満洲人が支那本部に移住したに引換へて漢人族が續々満洲に移住するやうになつて、國亡んだ今日ではその民族的色彩は著しく薄れ、その固有の言語民俗さへも漢人に同化しつつあるといふ有様である。近頃になつて、外國文化の刺戟を受けて、衣食住に多少の變化が見られるがそれは九牛の一毛にも過ぎぬものである

◇

まづ服裝は胡服の筒袖の飾り氣なしの長衣を纏うてゐる。見た眼には何となく陰氣臭く感じるのであるが、詳細に點檢すると氣候に適應した點だとか、或は文明人として完備した點など無視出來ぬものであると云はねばならぬ。支那人は階下級の勞力に至るまで、四季を通じて白足袋を穿き、頭部以外は身體の如何なる部分でも風氣に晒すことを徹底に忌み嫌つてゐる。だから西洋の婦人が胸の上部や腕を露はして歩いたり、日本の婦人が下腳部を出したり、素足を見せて外出するのを、支那の婦人は一種の戰慄をさへ覺えると言うてゐる。それから支那では婦人が腳を異性に見せることは非常な問題であるとされてゐる。

◇

次ぎに食物であるが、支那人は蘇州に生れ、廣東料理を食べ、杭州の綾布を纏ひ、柳州の棺に納まるを至福の樣としてゐる程で、珍味は廣東地方を第一に推してゐるが北方料理も決して之に劣るものではない。満洲は南北いづれにも通ずるが北方味が濃いやうである。農家や都會地の勞働者は主として一般に粟で、高粱や玉蜀黍を常食とし、肉食を摂ることは極めて稀で生葱を好んで食つてゐる。酒は水酒と燒酒の二つがある。水酒は普通の清酒であり、燒酒は酒精に類似のものである。高粱酒は満洲特產で中北部を最上とするが、日本の泡盛と同じく強烈なもので、露西亞のウォツキーと稱されてゐる。酒をたしなむ點では支那人は世界の選手權を取る資格が充分にある。吞めば醉ふことも日本人と變りはないが、唯、日本人のやうに醉つぱらつて街頭で放歌を唄つたり、他の迷惑なしに喧嘩を吹つかけるやうなことは絶對にしない。酒は

◇…愉樂　のために飲むのであつて狂ふためのものではない。この邊が大分日本人と支那人の性質に差別を生じてゐる所以でもあらうと思はれる。また支那人は頗る宴會好きで、自家內でも月に一二回の宴會を催すが、商人は每月必ず顧客人を招待するために宴會を行ひ、官吏になると殆ど每日宴會の連續で、一年の俸給は四五回の宴會費にも足りないといふ有樣である

◇

満洲人の宴會は雅味と情味とに富んだものであつて到底他國では見られない。賓客に對する主人夫妻の接待は人類の創始した作法の極致かと思はれる程で、まづ客到れば煙草を獻じ茶を點し、酒は杯に注ぎ、客にすすめる際は必ず腕を[illegible]時は何時までも跪坐して客の飲み終るのを待つてゐる。宴たけなはになれば、主家の男女が立つて交々舞ふのであるが、その舞ひたるや、片袖を額につけ、片袖は背に廻へし右に左にしなやかにすれ違ふ有様はまるで春の野にたはむれる蝶の如くまことに形容の辭もなく、とても人間の技能とは思はれない位である。席上には山海の珍味佳肴を盛り、客の好みに委せるなど水も漏さぬ接待ぶり、牛を殺す大什物の料理を思はせるものがある

◇

満洲人の嗜好品として酒の外に茶と阿片とがある。支那人は朝起きてから夜床に入るまで殆ど間斷なしに茶を吞んでゐる。これは氣候の關係で乾燥を醫やすためである。西遊記の中に孫悟空が河流に出て滾々と水の湛へた川があるとて首をかしげる所があるが、満洲には實際水の無い川が多い。日露戰役當時激戰地として名高かつた遼陽北方の沙河はその有名なものの一つであるが、沙河は満洲の到る處にある。また水の有る川は濁水が普通であるから清水には非常に不自由してゐるのである。満洲の支那町を旅行すると街頭で湯を沸して賣つてゐる老爺をよく見受けるのであるが、支那人の下層階級や、自家に湯沸の設備の無い家々では、一日のうちに何回となく藥罐を提げて熱湯を買つて來て茶をいれて飲むのである

◇

支那は全く個人の權威が高い。州と州との境界なども見當がつかない程漠然としてゐる。だから自然の脅威が強く人の力といふものの如何に微弱であるかといふことが殊更に強く感じられる。從つて支那人にとつては自分の住家が此世の極樂境であつて、自家住宅の外はすべて大自然であり天下であつて、個人の生活を保護してくれる何物もない。支那には社會性はあれど國家なしと云はれる程で、國家の保護の下に生活する國々の住民から見れば、支那人は全く孤立無援の狀態に置かれてあるが、五千年來の習慣性で彼等はそれを少しも不安に思はず、國家なくして生存し支那民族性を保持し世界各國の到る處で發展して來てゐる。而して支那人にとつては、自分の住む家が即ち國家であり、市であり、町村であるといふことが出來る。故に住家內での一家團欒といふことは日本などでは到底想像もされない程に濃厚なものがある

◇

家屋の構造は普通木骨煉瓦造りが多い。而も煉瓦は黑か灰色を用ゐ、赤煉瓦を用ゐるのは殆どないと云つてよい。屋根は板瓦を普通とするが、田舎には泥や架稈で葺いたものが大部分である。市街地には瓦屋根の家もあるがトタン屋根は見られない。窓は三、五、七といふやうに必ず奇數とし、極めて偶數を忌むことはすべて共通である。冬は寒氣が酷しいので必ず保暖裝置として、床下に坑が設けてあつて焚口からの火氣や煙も必ず坑に通じるやうに造られてゐる。普通の平家は奧行三間から五間程度のものが多く樓と浴場等の設備もなく、便所は極めて簡單に屋外に設けてある。入浴は大抵錢湯に出かけるがその錢湯たるや人口四五千當りに一軒位の割合である。元來支那人は入浴を好まない人種である。「オギヤ」と、この世へ生れ出た時と、結婚の日と、死んだ時と一生に三度しか湯に入らぬと云はれる程であるが、これは前にも述べたやうに清水を得ることが困難である所から來た習慣性である

◇

満蒙の民家の様式は、形の上から南部子と北部子とに分たれ、前者の上からは石造と土造とに分たれてゐる。山地性の遼東半島の民家は硅岩を材料とした石造が多く、半島から北進して遼河の原地帶に出ると、防風林に圍まれた民家の屋根は草房でも鐵には粘土を用ゐ、壁は高粱稈で葺つてゐるものが多くなる。更に北進して遼吉近くの地方になると平房子であつて、家も屋根もすべて粘土を用ゐ、まるで満蒙の人間は泥の中に住んでゐるかのやうに感じられるのである。丁度貨車を据付けたやうに見える棟なしの家屋で、周壁は土で固め、屋根は左右に木を渡して、その上に高粱稈か蘆を敷き、更に泥土を塗つてその上を踏み固めにし、恰も貨車の屋根そのままに出來上つてゐる

馬賊

安寧秩序の保たれてゐる關東州や鐵道附屬地から一歩外へ出るとすべての民家は各自の家を保護するために武裝しなければならぬ有樣である。村落に自衛團とも見るべき保甲隊を組織して生命財產を保護してゐる。而もこれは村ばかりのことではなく、大きな都會の町家でも必要であり、また習慣づけられてゐる。例へば公主嶺の支那人街や洮南などはすべての家々に保壘が築かれ、ハルビンとチチハルの間に在る安達の町の如きは街路の所々に見張りの爲の大きな高眼鏡塔が築かれてゐる程である。これは主として馬賊に備へるためのものである

◇

見渡す限りの平原に高粱がヌクヌクと生長繁茂した時、それは馬賊の跳梁シーズンである。彼等が一度民家の財物を掠奪してこの高粱畑に隱れた以上如何なる手段をつくしても發見されるものではない。馬賊の始めは清朝の中葉に遡つてゐるが、最初は生活に迫られて手當り次第に盜賊を働いたものらしい。然しこの連中は揃つて義俠心に富んでゐたので、富豪から

◇…強奪　した財物はこれを貧民に施したりなんかしたものだから、その勢威は四方にひろがり、この仲間に來り投ずる者が次第に增加し、遂には満洲全土到る處馬賊の被害を蒙らない所はない迄になつた。そして後にこの連中は山村僻邑の地域によつて居を構へ、生活を維持するに必要な物資はこれを強奪するといふことになつたものである

◇

丈なす高粱畑の彼方、土煙を上げて飛び來る騎馬の一隊はまぎれもない馬賊の集團である。一度彼等の襲擊に遭つたが最後、全市全村を擧げて灰燼となることも珍らしくない。だから三歲の乳兒と雖も馬賊來るの聲を聞くと泣き止むと云はれる程である。彼等はすべて[illegible]馬に跨がり、疾風の如くに去來し、小河位は乘り越すこと、恰も平地を往くが如くである。馬賊になるの動機は、單に盜賊としての興味からばかりでなく、或は仕官の志を得ない者とか或は外國の役人に對する反感から馬賊の群に加はる者も少くないのであるが、國家としての守備兵の一人もない満蒙の各地では官兵と稱する時の權力者の私兵等が、馬賊と氣脈を通じてこれを操る結果となつて歷代の中央政府も如何とも手の下しやうがなかつたのである

◇

要するに満洲名物の馬賊は、清朝の秕政が生んだ一種の反抗兒の變則的職業であつた。それが今日も尙正業に就かずに山寨に立て籠り時折り民家を脅かしてゐるのである。現在では馬賊の大集團が關東州や我が鐵道附屬地へ大集團を以つて強襲するやうなことは殆どなくなつた。唯、北満洲地方殊に黑龍江省の北部や吉林省の北部等の山寨に籠つてゐてその附近を脅かしてゐるに過ぎない。馬賊襲擊の要領は極めて巧妙に用意周到を極め數日前から斥候を放つて情況を探り、然る後に之を襲ひ一村一郷又は富家を狙うて一擧に大量の獲物を求めるものであつて、無辜の庶人や旅行者の一人を襲ふやうなことは絶對にしない。若しそのやうなことがあつたとしたらそれは小盜か、せいぜい苦力崩れの惡戯に過ぎないのである

產業

満蒙の經濟は農業がその基本となつてゐる。満蒙の農業こそはあらゆる產業の上に卓立して[illegible]となり、これに基いて工業も[illegible]發達してゐるといつて[illegible]。南の[illegible]、北の大[illegible]は満洲の沃野が生み出すところの代表的穀物である。一年の產額は[illegible]三千七百萬石から四千萬石を算してゐる。[illegible]其のままでまたは搾つて油と粕とになつてその大部分が海外に輸出される。満洲を稱して「大豆の國」と云ふのは誠にふさはしいことである。これあるがため豆油、豆粕の油房工業を興し對外貿易の主要部分を占めてゐるのである

◇

これを數字で示すならば昭和五年満鐵調查課の豫想するところに依ると四千四十六萬七千石と云はれ世界の大豆生產額の約六割を占めてゐるとのことである。満洲[illegible]の[illegible]を成すところの油房の數は約一千、一ケ年の豆粕生產高は約五千萬枚に達してゐる。更に満洲からは年額二千六百萬石の粟を產出してゐる。粟は高粱より少し上等の支那人の常食糧である以外に黃酒といふ高粱酒よりも上等の酒の原料ともなり、稈は家畜類の飼料となつてゐる。朝鮮へは年々六百萬擔から移出されてゐる。朝鮮人はこの粟を食つて高價な米を日本內地へ移出してゐるのである。この外に主要農產物の主なるものとしては小麥の一千萬石等がある。

◇

満洲は古來名馬の產地として知られてゐる。蒙古の馬は[illegible]、[illegible]ないけれども各[illegible]の[illegible]がとれてゐて耐久性は[illegible]粗食に耐え強靭で持久力が極めて強い。一代の

◇…快傑　成吉思汗の率ゐて亞細亞大陸を平伏せしめたのも歷代支那統一を志して中原に馳せ向ふ各軍の陣頭に立つのも或は又馬賊の手足に使はれるものもすべてこれ蒙古系の馬である。満蒙における家畜の數は馬が二百五十萬頭、牛が二百萬頭、騾が六十萬頭、羊が二百五十萬頭と豫想されてゐる

◇

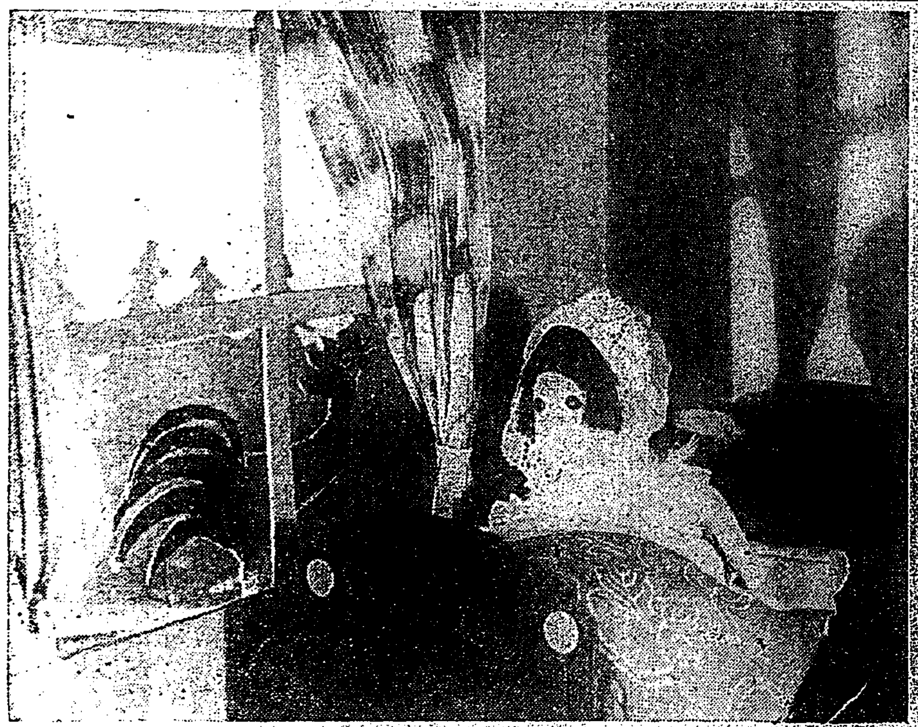
豚は満洲の到る處で飼育されてゐる。これは回々教徒以外の支那人の殆ど常用するところの食用獸だからである。満洲の[illegible]では一戶で千頭からの豚を飼つてゐるのも珍らしくない。七八十頭から二三百頭の豚を飼つてゐるのは普通である。[illegible]燒鍋、油房、製粉所、穀物問屋等に飼はれてゐるが長春、吉林等が主な產地となつてゐる。豚の肉と腸及び內臟物は副食物として珍重され毛では刷毛を作り、骨は細工用に供し、血液は防腐劑とし、糞尿は肥料とするなど豚を屠つて廢物は少しもないと云つてもよい。されば豚は満蒙畜界の王座を占め遼寧省に三百五十五萬頭、吉林省に二百五十五萬頭、黑龍江省に二百萬頭、東部內蒙古たる熱河省に四十九萬頭、合計六百二十九萬頭からの豚が飼はれてゐる。

結び

現に満蒙には殆ど無盡藏とまでいはれる程の鑛物が埋藏されてゐる。南満洲に於ける撫順炭礦と鞍山製鐵とは何れも満鐵の經營する事業であるが、鞍山製鐵所が貧鑛處理法の發明によつて充分な利用價値を生じたことや、撫順炭礦に於ける世界無比の露天掘作業の如きは満洲工業化の原動力たる石炭の供給に一新生面を開いたものとして、また重大なる資源の開發として特筆すべき價値と云はねばならぬが、この外に北満洲に於ける金、銀、銅、鐵及水鉛、吉林省北部、黑龍江省等に於ける石炭、東部內蒙古地方に於ける金、銀、鉛及石炭等は殆ど未開發のままに埋藏せられてゐる有樣である。

◇

最後に満蒙問題と切り離して考へることの出來ないのはその背景をなす現在の支那である。世界の謎の國支那、この謎を解くために日本は曩より世界列強から払はれる苦心は並大抵のことではない。而もそれらの國々が支那に對して持つ所の密接なる關係は互ひに相錯綜してますますこの謎を難解なものとして行くかのやうだ。日本の對満蒙根本方針とも云ふべき日支共存共榮主義に支那が賛同して互ひに手を握り二人三脚的に進んで行くならば問題はないのだが、支那側の非は満洲に於ける日本の地位を奪取するにあるのだから問題は甚だ面倒になつて來た。何が斯く危險に導いたか。それにはいろいろな理由もあらう。また時勢の力もあるだらう。然し根本の理由はこれまで日本人の大多數が余りに満蒙に無關心であつたことに歸せなければならない。今日の満蒙問題は最早單なる植民地問題ではない。實に日本國民全部の死活に關する切實なる問題となつて國民の前に展開し擧國一致の重大なる覺悟を六千五百萬の同胞に要求してゐる



……曉の鷄聲……

革命支那の

モダンガール

纏足婆も斷髪して ヨチヨチ姿で街頭へ
裸體行列など朝飯前のこと
美望の的は宋美齡

革命支那のモダンガール、それは纏足から斷髪へ、薄暗い閨房から明るい社會への素晴らしい急テンポの飛躍變化で、目まぐるしい變化は言葉の上にも現はれて時髦姑娘（ハイカラ娘）位では間に合はないとあつて、たうとう摩登女士（モダンガール）と云ふ一寸日本人が見たのではまるで意味も分らない樣な新名詞をデッチ上げなければ氣が濟まぬ事にまで成つてしまつた。それは丁度日本ではハイカラではピリツと來なくて、モダンガールと呼ぶ樣になつたと同じだらう、支那の歷史を繙くと楊貴妃を始め所謂モダンガールは數限りなく出て來る。近い所では西太后と云ふ偉い、モダン婆さんが清朝の末期を傲つて氣を吐いてゐる

○

古い所は暫らく措いて所謂現代支那の、モダンガールの發源地は國民黨であつて、或意味に於て三民主義の鬪將と云はれる纏足女打破！婦女解放！の聲と共に飛び出した女鬪士連中は全く革命運動史上に相當大きな役割を演じて來た「秋風秋雨愁殺人」の詩を口ずさみながら從容として斷頭臺上の露と消えた秋瑾女史を初めとして男も及ばない有名無名の女鬪士連の事蹟はそれこそ枚擧に遑がない

○

蔣介石氏が國民革命軍を率ゐて北伐の壯途に就いた前後の廣東女性の新時代への飛躍振りは全く目醒ましく、長い纏足を廢する者は革命の公敵と云ふので婆さん女學生から女工やアマに至る迄が[illegible]モダンガールと共に[illegible]りして街頭に飛出し盛んに

紅

い氣焰を上げた。[illegible]ゲートルと云ふ扮裝で從軍したものもあり宣傳隊や看護隊として大前の活動をした者も少くなかつた。彼女等の殆ども華やかなりし頃は何と云つても武漢政府時代であらう。そして婦女解放、男女同權の先決問題は先づ永い因習が作り上げた女性自らの[illegible]觀念の打破にあると叫んでモガ連は一絲まとはぬ裸體行列までやつて除け一生涯女の肌を拜む事など夢ひもよらぬ車夫や苦力等を夢現の天國に遊ぶの感あらしめこんな結構な運動なら俺等も大賛成だと飛んでもない[illegible]拍手喝采を受けたと云ふエピソードを遺した程の徹底振りを見せた。青天白日旗が北平城頭に掲げられる樣になるとさすがの古い因習の都も一朝にして頽敗な斷髮女が街中を所狹しと濶歩し出し、盛り場や公園では映畫そのままのラブシーンが實演されると云ふ變り方で五十の坂を越えた纏足婆さん迄が斷髮にして昔ながらのヨチヨチ姿で大眞面目で街頭に進出る仕末。餘り見與にならない迄になつたから恐ろしいものだ。

○

支那婦人の流行は數年前迄は殆ど花柳界から出たものであつた北京では良家の子女と妓女の區別がつかず風紀上面白くないと云ふので妓女に一定のメタルを下げさせる事にした所が何時の間にかこれが又流行となつて女學生あたりが似た樣なメタルを我先にと下げる樣になつて又見分けがつかなくなつた警察でも遂にサジを投げたと云ふ話もあつたが、近頃ではころつと變つて流行は歐米アメリカ映畫萬能となり、支那映畫の物語やスヤダニエルさてはガルボやディートリッヒそれからジョセフイン・ベーカーが橫行濶歩する時代となり支那服は非常な

勢

で洋服趣味を取り入れて今では巧に支那服と洋服の長所を集めた新々奇なものが出來て居るが又その流行が恐ろしく目まぐるしく春の型は夏にはすたれ夏の型は秋には古くなる始末その上朝晚夫々完全に型が異なるのだから流行に遅れまいとする支那モガの此の方面に費す努力とお金は少いものではない。日本の[illegible]がハイカラつた心算で[illegible]で歩く支那服等はもう彼方では過去の古物屋にでも行かなければ見られない時代遅れの流行遅れの代物で、あんなものを身に着けて彼方のモガ連にプッと嗤き出されなかつたら幸ひだと云ふ事を御注意して置かう

○

現在の支那の流行の中心地は何と云つても上海と云ふ事になつて居る。支那中が今月も戰爭明日も戰爭と年から年中血腥い風に吹きまくられて居る間に國際都市上海は貿易商業の中心であると同時に唯一の別天地として支那全國の物持ちの避難所ともなつて益々殷賑の一途を辿る事になつた。從つて上海位大小のブルジョア連が存在する都市は東洋には外にはあるまい。之等多數のブル家庭を取り卷く所謂社交界の明星と云はれるモガ共から次から次と矢次ぎ早に目まぐるしい流行が生れて來る。これが又上海を中心として非常な勢ひで全國に流行して行く。上海の流行が北京に傳はる迄に一ケ月とはかからないが北京で流行る頃には上海では又別な型が流行して居ると云つたらそんじよそこらのモガ連も[illegible]だらう。上海モガの活躍範圍は映畫館、ダンスホール、ホテル、カフエー、デパート、劇場、競馬等々ざつと擧げてもこんなものだが、大馬路の雜踏に數千弗の札束を投げ出したり、永安公司でコテイか何かの香水一瓶に數百弗を惜げもなく擲つは平氣、こいつが何處のモガにはよく出會はす。もう近頃ではロイド眼鏡に洋書小脇に練り歩くなんて陳腐な代物は完全にモガ戰線の落伍者となつて影を潜め、彼等は最新型の高級自動車—それもオープンでないと[illegible]と云ふ事になつて居る—を自ら運轉し時に[illegible]でもしたモミ上ゲの思ひ切り長いモボを坐らせ夜はマゼスチツクやキヤセイホテル一流ホテルの大舞踏場に乘り付け醉いの宵い酒にボツとほてつた身體を例の若者にもたせかけながらワルツの波に乘つて曉に至らなければ一人前ぢやないと云ふがダンスに疲れた彼等の其後の姿は筆者もよく知らない。

○

支那モガの活躍の模樣はざつと斯んなものだが何にもつともつと恐いのも澤山ある。何時の民衆運動の中心で[illegible]を振つて先頭に立つて居るのは美貌のモガに極まつて居る。モガの指揮しない民衆運動は常に元氣がない支那に長く居る人達はよく『今日の民衆運動は女學生が[illegible]つて居るから盛大だよ』などとモガの有無を運動が盛大化するか否かのバロメーターにする位。大上海で猛威を振ひ、ジゴマやルパン張りの神出鬼沒ぶりで恐れられて居る人殺團の本據は何人にも突き止められないがこの國に命知らずの荒くれ男の殺團を顎で使ふ團長こそは租界內の某所に豪壯な邸宅を構へて居る妙齡

花

を欺くモダンガールだと云はれて居る又支那全國に橫行する數限りない馬賊十團の中には女頭領の指揮する有力な集團が少くない。支那では女性は全く男性の玩弄物の範圍を出ない等云はれたのは大昔の事でどうしてどうして那邊は全くさうは行かない、上は蔣介石張學良から下は苦力百姓に至るまで何れを見ても女房に頭の上がる亭主は無いのだから愉快だ。そんじよそこらのモガ連は[illegible]支那に押し出す事だ

○

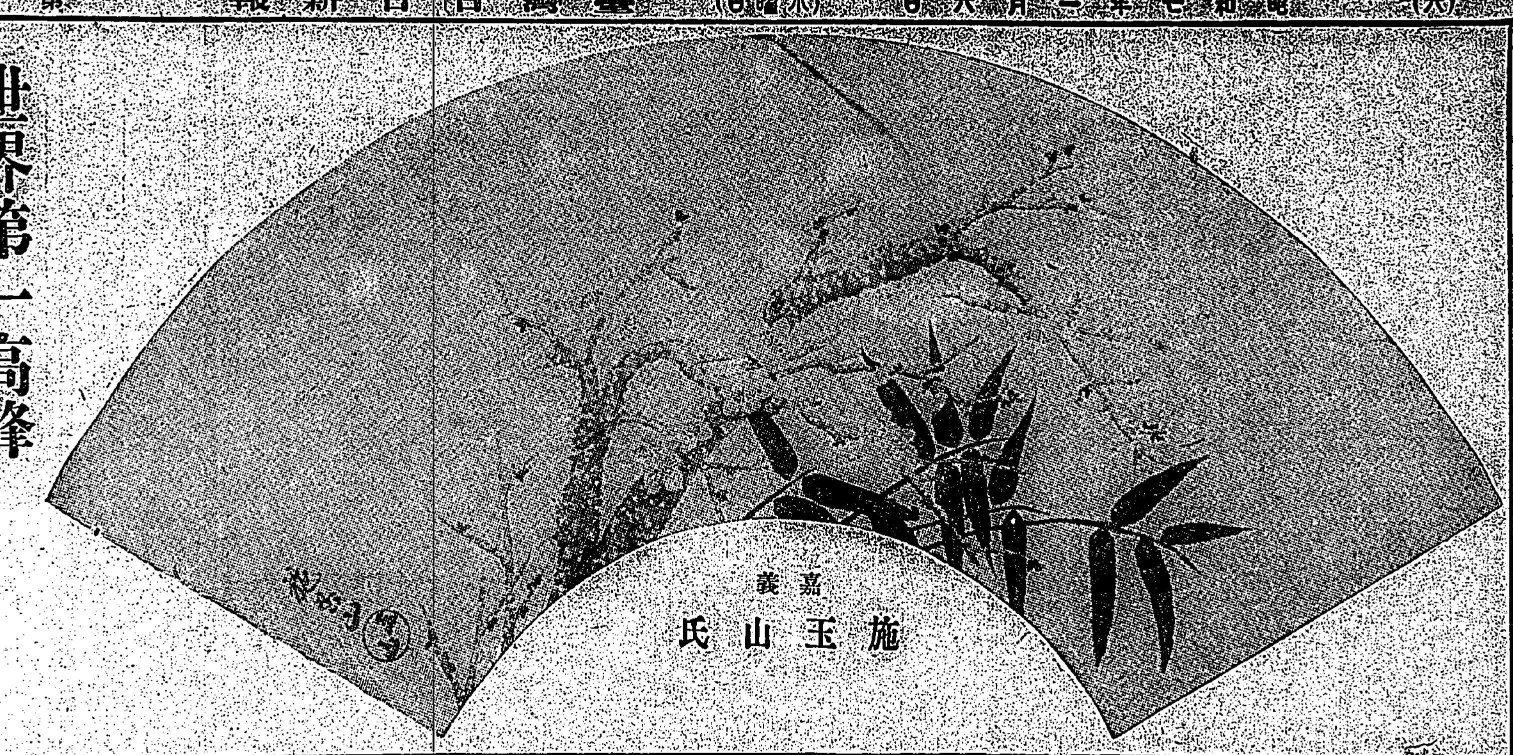
現在支那モガの尖端の的は何と云つても宋美齡夫人（蔣介石夫人）であらう。口の惡い連中は『ソー美齡でもない』等要らぬおせつかいをするが、どうして[illegible]人が見ると何とも云へぬ[illegible]があるとの事、美齡夫人に握手を[illegible]つたと云つて身をふるはせて喜んだ外交官もあつたとか[illegible]だとか支那の[illegible]丈けに我慢も相當だし政治にも一通り嘴を[illegible]まないと氣が濟まぬとか、[illegible]みる將さんも美齡夫人には一向頭が上らない[illegible]を[illegible]に[illegible]て、先づ第一番に夫人と自動車を湯山溫泉に馳せる事を忘れず、政府幹部との會議は何時も後廻しだとねたむ者もある。美齡夫人は米國育ちで支那語より英語の方が便利と云ふ位い人。支那四百餘州にタッタ一臺と云ふ自動車を備へ夜會服一着一萬元、靴が一足三百元と云ふ豪勢振りは人の惡口かも知れない。が推して知るべしかも知れない。于鳳至夫人は最近[illegible]満洲王として威風邊りを壓した張學良の夫人で、少し細過ぎるからりとした長身の美人、[illegible]な威嚴を[illegible]て居るから口の惡い支那人間には大洋馬で通つて居る。満洲の大金持の長女に生れ第二世満洲王に嫁いだ丈けに此の夫人は金の値は全く知らない上海の美容院の[illegible]が氣に入つて投げ出したチツプが千弗、キヤセイホテルのダンスが愉快だと云つて投げ出した小切手が三千弗だつたとか五千弗だつたと聞いてさすがの上海モガをアツと云はせた、夫人の嫉妬は有名なもので張學良が[illegible]何夫人とかの所に[illegible]で追つかけて來た時の騷ぎは[illegible]張良坊ちやんは[illegible]の爲め大命を三日も休まされたと云ふ話もある。法律の辯士と云ふ眼めしい肩書のモガ、このオールドミスの[illegible]さんに依賴した訴訟で敗けた事は一度もないと云ふので大繁昌、數年ならずして今や巨萬の

富

を成して居るが『それもその筈司法院長王寵惠とは[illegible]時代からの特別關係があるからだ。うつかり敗けさせうものなら其の裁判官は明日からルンペンを覺悟しなければならんからなあ』と陰口を叩く奴もある

○

國民會議主席團九名の中に選ばれた唯一の女性として氣を吐いた[illegible]女史は今でこそ[illegible]の教育家だが其昔は革命運動の急先鋒として活躍した人だけに何處から見ても美しくないお面相日本人と會ふと[illegible]まりきつて『カチユーシヤ可愛や』と片言交りに歌つて聞かせないと氣が濟まぬと云ふ少し古典モダン型さん[illegible]相に於て姉たり妹たり[illegible]天仇夫人でやはり[illegible]である。この御兩所が協力して白[illegible]女史を無理矢理斷髮と支那服から斷髮を強制されたが仲々決心がつかなかつたとの事だが[illegible]つた鬼瓦面の斷髮婆さんの[illegible]味のよくない形相を直接見せられては白女史でなくても躊躇するのが當り前と感心するものもある


嘉義　施玉山氏

世界第一高峰 喜馬拉山三部祕密

即地理氣候人事概要

世界高峰之一的喜馬拉山近因被探險家屢爲光顧。其內部新奇。已爲世人所知。玆據日本某探險家。依新由斯地歸來者云。該處可分三大部。而此三部之一切情形。與外界廻異爲記之如左。

地理祕密

可分爲想像的仙境。與眞實之桃源境。當余初抵該處時。土人告余。在大雪山之北麓。有仙境。爲仙人聚居之所。常人莫能前往。必也根深性善者。方得入遊。仙境中無分四季終歲百花爛漫。且結果實爲同一時期。境中人民。終年無所事々。日以果實爲食。故境中女子。足稱天仙云。

在喜馬拉山中。復有眞實之桃源境。與塵世隔別。其地適在新遊黎亞山之北名大龍。入村之途祇二。一自西溪姆之東而往。一自北西藏而入。然北道險惡。非初遊者所能往。余抵該處時。有土人前來。樂任引導。謂在險峻處。可以背負。然余終未敢嘗試。入桃源境後。始知此境地屬遐邇。而免納租稅。境內種植。每獲收豐居民冬則隱入山谷間。夏則出谷。在大雪山之東方有廣大牧場。畜牛羊極多該處女子頗美。咸作古代裝束。居民上等者。衣西藏服。下等者則大抵祇以闊布一幅。掩蔽下體。復繞前後作十字形。全境以此等人爲多。皆頗快樂。不感何等痛苦。境中人口不蕃。以於生殖能有制限故不致多產嬰孩。蓋胥奉西藏風俗之一多妻夫主義每有兄弟五人。共有一妻者。此即爲人口不蕃之生因也。該處人民。稱村爲「大龍」「大」爲幸福之意。「龍」係村或谷之意。村以幸福名。洵是名副其實。喜馬拉山中之西藏人。皆崇奉西藏佛敎。佛敎有喇嘛。則不日喇嘛。而稱之爲「劫龍」。爲全村所最崇拜之人聞某夜劫龍。夢見彼已降村。向西而進。直抵樂國如是者連續多見一週間。乃逐詔告村人曰。「汝等速往清理家事。隨我往樂國」於是闔村。皆隨之行。登山凡三四日。漸過雪山深處。崎嶇難行。且遭風雪狂擊。乃變道而行。迨行已十日。某晚止於山谷。忽聞鷄鳴。劫龍乃向衆曰「吾等已行近樂國。汝等速向之虔拜。明朝我等必須抵該處」語畢。遂命衆大聲誦經。翌日下谷漸進。就知所謂樂國者。乃彼等習經之路。名「凡隆」村。村人見衆來。咸集而問訊衆始知受劫龍之愚。其後劫龍已無顏再主持佛敎矣

氣候祕密

喜馬拉之氣候。南方接印度之熱帶地域。故山麓間所植熱帶植物極繁盛。迨上登五六千尺。則成爲溫帶地。松樅及喜馬拉松等溫帶植物頗多。右更上約一萬七千尺之地。則有寒帶植物。山巓最上之處有高山植物。故氣候亦隨之變化。植物隨氣候之所宜而生長。一日中可以觀覽四季之景色。然此猶須就高下之處分植。最奇者在西溪姆之都會廿脫地方於同一土地。植四季時花如春之櫻草。龍膽。牡丹秋之菊花。夏之蓮葉等。同時開放。故即此一點。吾人已覺有登喜馬拉山遊覽之必要。杜鵑花一物在日本恒有出價三五百圓尚不易購得之良種。然在彼處。則盡係佳品。喜馬拉山自五千尺之高處起。以至一萬八千尺之處石楠樹隨處皆有。而大小各別。高者有至五丈餘。寒處之石楠。則適作盆栽之用。植物以外。其他之欲舉以相告者。爲「冰河」以言冰河。每令人想像清澈如冰之物。喜馬拉山低處之冰河。極爲壯麗漸往上行。則漸成波形冰河受太陽光線之強弱。發出各種紫黃紅之光彩。實可謂已臻色之極致。觀之非常愉快。然空氣稀薄呼吸極苦。往々令背骨中作響。在山之高處。復有溫泉。西溪姆人民。常入就浴。然藏人生後即不慣入浴。故亦不喜入浴此泉凡有胃腸等病者。入此泉頗效。浴溫泉四周。張有天幕。余以三四十日未能入浴。積垢滿身。今一旦入泉。痛快淋漓。無以復加矣。余之往登喜馬拉山目的非爲探險。乃欲研究佛敎。至旅行喜馬拉山之氣候最良時間。爲自十月以至十一月。其時天氣頗佳。雖極嚴寒。然寒氣在喜馬拉山。爲普通之事故十月一月。爲相宜。惟欲觀雪景色。則以六七月爲善山上花木。正欣々向榮。在山上不甚高處。氣候不寒不熱。正屬適中。在西溪姆所產米穀極上等。足以供給全喜馬拉山人民食用。至旅行喜馬拉山。有一須注意之事。當行經雪山時。往々易罹雪盲病。不幸罹此疾。則頗苦。蓋山中每降新雪。雪堆中發出一種化學的光線。目即痛不能開。一時無藥。祇能以簡單之自己療法治之以手巾包雪。頻拭患處。約三日可愈。設事前能携有色眼鏡往。即可無事矣

人事祕密

山中住居者。各種人類皆有吾人試往大吉嶺觀察。則宛如一人類之標本聚集所大吉嶺有英人所購之兎兒寺在焉。成爲山上極盛之都會。人口共有十五萬。西溪姆人民每遇會集。恒在夜中。每年米穀收穫後必先舉行慶祝。然後家家以黑和赤豆煮之爲食。極似日本風俗。余以爲或來自日本之高天原之人種。亦未可知。余倘無其他目的。當永居此間。蓋該處美女極多。盛行自由結婚又山中人民。對客極懇切然彼等有一種迷信。然非各村皆如是。某村奉行名「洞婆」宗敎。關係西藏最古之崇拜自然宗敎。信此敎之人民間。有一迷信。因山中有一種毒質植物。彼等居恒收集此木之毒質善藏之。凡遇有富厚之人即以毒質飲之致死。以爲此人之福祿。即可由彼轉受。每有俟招宴來客時。以毒潛入茶酒中。飲毒後須三四十日方死。故慣例樂宴時。必主人先食所謂「主不動客不行也」。

安全船

船底穿穴不沈

意大利某專門家。曾發明汽油船。該船用特別構造船體置兩小氣袋。航行時較他船平穩。且於船底穿穴。亦不沈。現已作成一隻。可乘七人小形。而同樣構造。大形亦不沈云。

用紫外線治肺結核

發射光線殺菌

澳都維也納未希醫師。近發明用太陽光之紫外線。深射入人肺。可治肺結核病。又可治痛風症。及鼻腔之刺戟。其療法。須先用愛克司光照相。確定肺之患處及地位。後即用一細而彎之桿。從咽喉通入桿之頭部。有一小水晶燈在患處發射紫外線數分間結核菌立即殺滅。病症可愈。此紫外線爲日光中之一種光線。所以多照日光之人。可免患肺病。該地方人民。用此法治好者。頗多其人云。

昨年全島大事記（三）

八月

一日　渡邊軍司令官。歷任大將。轉補軍事參議官。兼航空本部長。

七日　臺南林謙三殺害內緣妻疑案。在高等法院覆審部檢察官。作包含無罪論之空前求刑。保留論告判官判無罪。

十一日　臺灣土木協會不滿日月潭工事包辦之小部分指定。臺灣組連名辭退野口新竹州知事。轉知高雄州。平山高雄州知事。轉知臺北州。猪股花蓮港廳長。知新竹州。谷本高校敎授。任同校長。宇賀臺北州知事免官。閣議決定。宇賀氏去二日被選爲電力社理事。

十日夜來暴風雨。下淡水溪增水一丈五尺。十一日鳳山郡大樹庄浸水丈餘。黎明山崩。住家六十戶埋沒。死者四十六名。

十六日　眞崎軍司令官著任。

十八日　瀧口吳阿頑受賄控訴公判。本日起四日間開于覆審廷。

九月

二十四日　滿洲日華兵衛突。全華反日空氣險惡。福州總領事。欲使同地在留邦人避難來臺。託總督府照料。本日開部局長會議協商善處方法。

馬公軍艦矢矧。驅逐艦梨廿三夜即赴福州。從事警戒

十月

四日　內臺連絡飛行。本日起試驗。空輸會社雲雀號飛行。其間僅經九時間

二十六日　高等法院覆審部。判決瀧口民三無罪。吳阿頑懲役三年。追徵金九千圓

曉鷄聲

○　陳文石

鳴晨獨奏五更功。喔々催回曙色融。洛水銜珠光燦鍵。扶桑唱玉韻玲瓏。曉天遼波雲霞外。午夜相聞風雨中。守信有心深戒旦願敦世運日隆々。

○　蘇友讓

五更樹上引叫長。喔々殷々遠近揚。信是知時能戒旦。居然鳴盛共朝陽。雲中高唱隨仙仗。苑北齊音達帝鄉。甚願光明存世界催回麗旭出扶桑。

○　陳昌鑑

整冠拜足五更長。那管腹臟尚雪霜。雅韻悠々將刻報。清歌喔々待時揚。恐君喚起塵寰夢。信口長鳴旭日光。聽爾雞鳴知子午殷與鼓手望扶桑。

○　張芬生

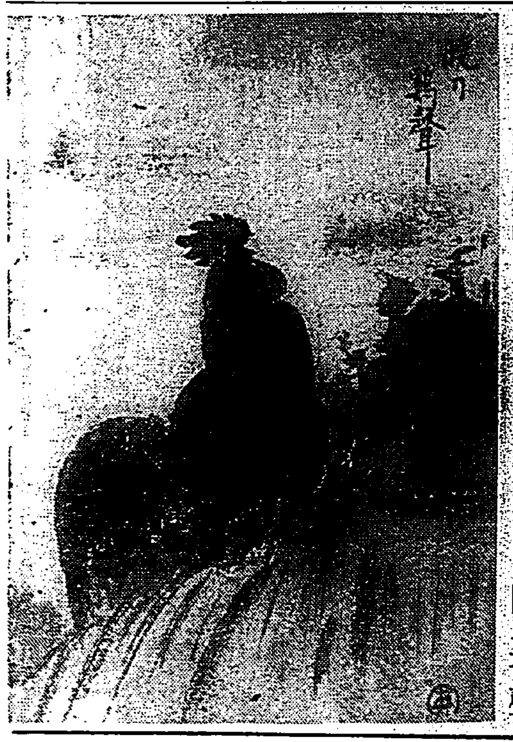
天示祥徵歲序新。司晨聲溢八洲濱。三鳴自是人間信。五德誰言隱士珍。霧裏嘐々聞紫閣。雲中喔々上蒼旻。錦翎赤頸無疆壽豈獨遙瀛萬萬民。

○　賴尙遜

人間曙色尙朧朧。入耳遙聽響日中。咿喔幾番催塞北光明一綫啓天東。枕戈有客酬皇國。起舞何人趁好風。待到五更高唱罷。扶桑旭日正曈々。

○　陳澄秋

金雞報曉未央時。聲聞于天職所司。鶴立群中形獨異。鴉啼屋角韻參差。身膺五德英雄著。威震四方政令施。將曙唱來熬夢裡君民互警振鴻基。


臺北　陳英聲

花蓮港　梅野清太

花蓮港木材株式會社　電話一四五番　二〇六番　二〇〇番

花蓮港電氣會社　電話一〇番　一〇三番　二六二番　一六八番

株式會社朝日組　花蓮港　電話三二一番

花蓮港廳下小公學校　坂本茂　緒方足躬　奥村俊雄　岡元雄二　內田德太

鳳林　饒永昌

玉里　渡邊柳三　松尾溫爾

花蓮港廳支廳街庄　新城　磯貝九市　鳳林　清水倉太　公埔　水谷勝　研海　山口次人　豐田　大久保久榮

御料理　一文字　電話八番

玉里　加藤醫院　電話五九番

玉里　岩田商店

玉里　岩野商店　電話四六番

玉里信用組合　電話四〇番

花蓮港唯一の石版印刷　鈴木石版印刷所　鈴木國之助

上村齒科醫院　花蓮港　電話一三〇番

花蓮港　日夏呉服店　電話一四六番

コトブキすし　岡村賢吉　花蓮港　電話五番

吉野村　猿渡城人

林田村　清村字市

福井公　花蓮港

研海支廳タビト　工藤歲三

長興庄　華麟信用利用組合

屏東郡　鹽埔信用購買販賣利用組合

屏東郡　高樹信用組合

屏東郡　金港信用組合

屏東郡　九塊信用組合

屏東　間島康介

萬丹庄　張山鐘

屏東　白木原民次

屏東宿屋組合員一同

屏東　岩室哲造

屏東醫院　河東洸

屏東　藍高川

屏東　福田嘉太郎

會席御料理　井筒

土木建築　龍組

會席御料理　日春樓

有限責任　屏東信用組合

會席御料理　梅園

屏東　津下猪太郎

支店長　升島戸野一

屏東　小野田連己

屏東　東充國

屏東　カフエーヒノデ

屏東飲料理店組合

臺灣酒類賣捌人組合　屏東支部

屏東　平山寅次郎

屏東街長　渡邊發藏
屏東街助役　城戸彦市
屏東街助役　林權明
屏東街會計役　野田由太郎

長興庄長　馮安德
同助役　川村喜代吉
同會計役　徐慶鳳

鹽埔庄長　葉瑞菁
助役　加藤忠三
會計役　董恩賢

高樹庄長　溫慕春
助役　楊龍祥
會計役　曾德旺

六龜庄長　韓哲卿
助役　張東

里港庄長　立野圓治
助役　楊增春
會計役　蘇定

九塊庄長　龔天降
助役　陳總鎮
會計役　張文金

枋寮庄長　曾大目

屏東　高橋四郎

群臣を召されて華やぐ新年御宴

五日、豐明殿に催さる

【東京五日發電通】昭和第七春を迎ぐ宮中御例の新年御宴會は五日正午豐明殿に催させられた、光榮ある御召に預かつた内外文武顯官約千名近き一重臣を始め参り、午前十一時四十分秩父宮殿下を始め奉り在京の各皇族殿下、此日大使バヌンヒエール氏等外國交際官、東郷、山本兩大勳位、犬養首相以下各國務大臣、荒木陸相、若槻、牧野の兩前首相以下高官以上陸海軍將校並に各界の有力者に至るまで[illegible]

晴々と[illegible]

御正裝[illegible]

勅語を賜ふ

誓詞を奉呈せる陸海兩相に對し

【東京四日發電通】本日參内誓詞を奉呈せるに對し陛下に賜はりたる勅語は左の如し

勅語

皇祖考特ニ明勅ヲ陸海軍人ニ賜ヒシヨリ茲ニ五十年汝等克ク五條ノ大綱ヲ守リ皇考ノ遺訓ヲ奉シ朕カ意ヲ體シテ日夜軍人精神ヲ養ヒ力ヲ協セ心ヲ一ニシテ報效ノ實ヲ擧ケ忠良ノ誠ヲ擢ムス朕ハ切ニ汝等ヲ股肱ト頼ミ先朝ノ愛撫シ賜ヘル軍隊ニ信倚シテ國基ヲ恢弘シ國光ヲ宣揚シ以テ列聖ノ照鑑ニ對ヘムコトヲ庶幾フ汝等軍人益々職分ヲ勵ミ彌々節操ヲ固クシ其ノ重任ヲ全フセムコトヲ期セヨ

陸海兩相から奉答

【東京四日發電通】陸海兩相は優渥なる勅語を賜ひたるに對し左の奉答文を奉呈した

奉答文

[illegible]

陸海兩相から誓詞を奉る

【東京四日發電通】本日大角海相の陛下に奉れる誓詞は左の如くである

誓詞

[illegible]

年の始

[illegible]

王世子玖と御命名

【東京四日發電通】[illegible]世子御命名式は四日午前十時[illegible]町の李王邸で行はれ御父殿下は新殿下に王世子玖と御命名あらせられた

明大は新顏を揃へ全高雄を樂々と破る

スコアは四對零點

浮雲一つなき西子灣球場で

【高雄電話】明大對全高雄の野球戰を迎へた五日高雄の空は浮雲一つ見えない快晴だ、明大選手一行は正午旅館を出て西子灣球場に到着、先着の全高雄選手と挨拶を交はしつつ入場し、輕いウオーミングアツプを終へ[illegible]のフリーバツテイングが初まつた、左翼へ中堅へいい當りでライナーが白線の尾を引く、松井選手が[illegible]に左翼の[illegible]にダイレクトでぶつける、[illegible]選手がバーバーフエンスをかつ飛ばす、明大選手は『流石に暑いなあ』と汗を拭ふ、觀覽席を埋めたファンは『[illegible]』と顏を見合せてゐる、やがて[illegible]のシートノツクが明大は岡田監督、全高雄は池松監督のノツクで行はれ、午後一時三十分野口知事の始球式を終つて天知球審の力強いプレーボールに試合は開始された、[illegible]井村三氏、明大先攻、全高雄八田投手はマウンドに上り明大第一打者市谷はバツターボツクスに入つた

試合經過

第一回（明）市谷ストレートの四球に出て中尾のセーフテーバントに無死走者一二塁に[illegible]時山脇遊飛に一死となり角田の三匍で中尾二塁に封殺され市谷三塁に進んだが河野遊直球にやむ（高）[illegible]間に安打を放つたが投手牽制にかかつて一塁に憤死[illegible]

第二回（明）鈴木二直球、森松三振、針持二匍（高）内[illegible]中前に安打を放つて出たが溝部の一塁直球にダブルプレーを喫す、八文字二塁上を抜き[illegible]

第三回（明）久保田三振、市谷遊匍失に生き二盗の時捕手よりの投球を遊撃後逸し一擧三塁に[illegible]たがサインを誤つて[illegible]三本間に挾殺さる、中尾三振（高）島田三塁上を抜いたが八田三振、[illegible]二飛、松島中堅に直球を呈してやむ

第四回（明）山脇[illegible]

角田遊直球、河野三塁上を猛烈なライナーで抜き三塁打となつたが鈴木遊邪に直球を呈して空し（高）本田左前に猛直球を呈したが森松ころび乍らつかむ美技を演じて溝部捕手、内野[illegible]三塁打を放つたが溝部三匍、八文字遊匍に空し

第五回（明）森松に代つたPH松井中飛、針持三飛、久保田に代つたPH西野セーフテーバントに出で市谷の右翼線近く擲に弾する三塁打に生還し一點を取得す、中尾左飛（松井左翼に[illegible]）[illegible]田退く（高）川崎中飛、島田四球に選られたが、八田の三匍に併殺を喫す

第六回（明）山脇に代つたPH二木投手頭上を抜く安打に出て、角田左前にクリンヒツトを放ち、大野の三匍に走者二三塁に進む、鈴木に代つたPH松木左翼に猛烈球を送つた左翼手よくつかみ二木三塁に併殺さる（二木捕手に松木一塁に入り山脇鈴木退く）（高）稻生左翼左にクリンヒツトを放ち、左翼よりの送球を遊撃一塁に送投し稻生二塁に進み、松島の猛打に三塁に進んだがスクイズを看破され三本間に挾殺さる、本田四球に出たが内野の遊匍に封殺さる

第七回（明）松井三邪飛、針持投匍高野投匍（高）溝部遊匍八文字遊匍川崎三振

第八回（明）市谷遊際内野安打に出で中尾の猛打に二進す、角田第三球を打てば中堅二本左翼に一塁打となつて二者生還、明大三點を加ふ、川野中飛松木一匍（高）島田二飛八田三塁前[illegible]飛球をあげたが高野[illegible]

第九回（明）松井遊匍これをつかむ、[illegible]安打に出たが針持の遊匍に封殺され、[illegible]市谷の猛打に走者一三塁を角田[illegible]投し内[illegible]三振内野の三匍に進んだが[illegible]の遊匍に空しゲームセツト二時四十五分

	一	二	三	四	五	六	七	八	九	
全高雄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
明治（先）	0	0	0	0	1	0	0	3	0	4

試合時間僅に一時間十五分

本島球界では珍らしい事

ネツト裏より

明大軍針持、山脇のバツテリーに森松、久保田、鈴木の新顏を[illegible]たが五回より松井、西野、松木、二木等を適宜交代させて樂々戰つてゐた、試合時間一時間十五分は本島球界では珍らしい短時間の試合で天知、[illegible]審判のスピードある審判は氣持よくゲームを進んだ

[illegible]

總督主催の「新年宴會」

官邸に歡聲滿つ

總督主催新年宴會は五日午後六時から官邸大廣間において開會された、在北の官界軍部及民間の有力者百二十餘名が[illegible]め和々しく開宴、總督より新年に當つて閣下並に各位一堂に相會して歡談をなす事を得るのは最も愉快である[illegible]と挨拶を交へて挨拶をなし來賓のために乾杯し、これに對して[illegible]軍司令官は一同に代つて[illegible]なる祝辭を述べ總督の健康を祝して乾杯し主客互ひに新春らしく談笑を交へつつ盃を傾け八時過散會した

勅諭御下賜の記念式擧行

四日樺山小學校で

臺北市における軍人勅諭御下賜五十周年記念式は四日午後七時から樺山小學校講堂において擧行、會員約五百名出席、次で總督代理小濱内務局長、[illegible]田守備隊司令官、平山知事、内海市尹、高束山砲隊長外來賓五十名入場着席するや國歌合唱の後一同皇居遙拜、[illegible]勅語捧讀、臺北聯合分會長の勅諭[illegible]、高束山砲隊長の在郷軍人會長の訓示傳達、[illegible]聯合分會長の式辭、來賓を代表して内海市尹の祝辭、會員の會歌合唱あり、次で臺北聯合支部長の發聲で天皇陛下の萬歲を三唱して式を閉ぢ宴に移り[illegible]後に記念撮影をなして同三時盛況裡に閉會した

愛婦臺南州部婦人交禮會

【臺南電話】恒例による愛婦臺南州部婦人交禮會は五日午後一時から市公會堂において開催、會員約百名參集の上一同君ケ代合唱の後州部長[illegible]知事夫人の開會の挨拶があつて宴に入つたが[illegible]として越智夫人の謠曲、南門小學校生徒のダンス等あり一段の興を添へ[illegible]

禮裝した海軍將校新妻と共に自刄

佐世保海軍航空隊の佐藤大尉

遺書がないので原因不明

【佐世保四日發電通】佐世保海軍航空隊佐藤春夫大尉は佐世保市上矢岳町五十三の私宅で夫人とともに自殺してゐるのを四日午前八時頃發見大騷ぎとなり、鎭守府、海軍病院、憲兵隊より係官が現場に駈け付けたが二人は禮裝して倒れ大尉は見事咽喉を一突にして息切れ八畳の間を鮮血に染めてゐたが、武官なく原因不明で目下取調べ中である、夫人とは十一月末結婚した新婚早々である

[illegible]

どつちみち議會は解散

石橋代議士語る

三日來臺した前鐵道大臣秘書官石橋代議士は最近の政界事情に就て次の如く語る

議會の解散か否かは自分の東京出發迄は決定してなかつた、然し現政府が衆議院は議長以下各役員の殆んど全部が野黨に占められて野黨が絕對多數を占めてゐるだから當局解散と見るより外あるまい、時機は不明だが之も政府の立場もある事だらうから井上前藏相が政府に對し質問通告を出してゐる樣だから之に對し高橋藏相が目下病氣中であるし何人かこの質問の衝に當るかが問題である、ヘタを遣ると總選擧にも重大影響あるのだから政府としても考へてゐる事と思ふ

◇

政府がいくら政策で妥協しても多數にならぬのだから解散は免れまい、さりとて政友會が絕對多數を總選擧によつて占め得るかどうかが問題であろう、そこが政黨の面目味である、此の問[illegible]

◇

[illegible]

消防出初式

快晴に惠まれて盛況

基隆

【基隆電話】基隆消防組出初式は近年にない珍らしい快晴に惠まれた五日午前七時から公會堂下廣場において擧行された、先づ六時半組頭の合圖で全組員集合、八時には[illegible]部長始め署長以下係員來賓來場し服裝及び器具の點檢操法梯子乘り其他の演習に次で署長から六年中の講評及び報告あり、役員組頭、梯子手小川彌次郎、消防手鈴木火木の三名の表彰を行ひ[illegible]部長は州消防協會長として優良消防組として基隆消防組二十年勤續の消防手[illegible]田副組長及び十五年勤續の消防手[illegible]の表彰をなし、[illegible]祝辭あり組長答辭等あつて正午近く散式、それより組員一同市内各所で梯子乘の妙技をふるつた、尚同組では六日午後六時から料亭[illegible]で新年宴會を催すと

新竹

【新竹電話】新竹消防組の出初式は五日午前八時から州廳前グラウンドにて擧行[illegible]署長、保安課長等の服裝器具點檢等あり[illegible]部長の訓辭、知事の告辭についで知事、市尹より獎勵料の授與、來賓の祝辭があつて組員のポンプ操法梯子乘り等行はれ最後に模擬に火を放つて救命作業と勇ましい消火演習に移り午前九時十分終了したが風のない快晴で多數の觀覽者があつた、尚消防組員は引續き市中を梯子乘りをして廻り午後六時から公會堂にて新年宴會を催した

屏東

【屏東電話】屏東消防組の出初式は既報の如く六日擧行されるが同組員一年間の努力にむくゆるため街住民は挙つて慰勞感謝の意を表する事となつてゐる

宜蘭

【宜蘭電話】五日午前八時宜蘭公園において消防組の出初式が行はれた知事代理として西村[illegible]部長、樋山郡守、[illegible]其他官民多數臨場[illegible]

米國國務省から我が釋明を求む

四日奉天に於けるアメリカ總領事毆打事件で

【ワシントン四日發電通】國務省は四日奉天におけるアメリカ總領事毆打事件に關し出淵大使に對し日本政府の釋明を求むる旨通告した依つて出淵大使は[illegible]日本政府に照會すること[illegible]の意向[illegible]は九日中に[illegible]と述べた

反英抗爭の火蓋切らる

ガンヂー氏の逮捕で

經濟絕交を宣告

【ボムベイ四日發電通】ガンヂー氏は三日遂に逮捕投獄されたが、印度國民會議派の[illegible]はその後に遂に同派は四日遂にイギリス品に對するハータル（一種の經濟絕交）を宣言し玆に愈々反英抗爭の火蓋が切られた、尚同會議派は本日米國に印度人解放に付き助力を乞ふ旨の聲明を發した

臺南の歲末賣上廿七八萬圓

當籤發表は八日

【臺南電話】政變來の[illegible]を示した臺南の歲末大賣出しの成績は[illegible]に比較して兩次上向を示し大凡二十萬圓を超過する[illegible]好況を見せたが六日[illegible]部は二十四萬五千圓の[illegible]前年に比較し四萬五千圓の増加となるが[illegible]金額としても二十七八萬圓には達したものと見られてゐる、尚抽籤は六日午前十時より關係者立會の下に公會堂において實施し八日發表の豫定である

天理教春季大祭

若竹町[illegible]天理教臺南宣教所で六日午後一時から天理教春季大祭を執行する、有志の參拜を希望する由

全島軟式庭球選手權大會

五日盛況裡に終る

【新竹電話】第八回全島軟式庭球選手權大會は一月四五の兩日新竹州協會コートにおいて開催、出場人員シングル三十四名、ダブルス三十四組、各選手妙技を盡し力戰したが結局左の成績を殘して五日午前十一時過盛況裡に終了した

川村總督カツプ
シングルス　　柳金木
ダブルス　　熊林鍋富、小出

體育協會カツプ
一等（シングル）柳金木（ダブルス）熊林鍋富、小出
二等（シングル）[illegible]（ダブルス）張火爐、柳金木

7A—1 北一中遂に復讐さる

對神港第二回戰

【臺北】一中對神港野球第二回戰は午後一時二分市本球、谷川、鈴木、石井審判の下に一中先攻にて開戰、第一回戰に三人殘塁にて一中の勝ちとなつてゐる爲に一中ファンの期待は大きかつたが一中の調子も及ばず七A對一にて一中復讐さる、即ち

◇一中は第四回岡石飛失に出で盜塁の捕逸に進塁、三啓打に岡本第三盜に出たが第六回岡死にして中野の三啓打に[illegible]チャンスあつたが入らず結局一點を上げたに反し

◇神港は四回四球、五回山口櫻井四球に出たのをきつかけにヒツトと四球、岡本の左翼越本壘打川島の中右間三壘打などあつて打順一巡一擧六點を入れ第六回四球と敵失に一點計七點を取得した

北一中（先）　0 0 0 1 0 0 0 0 0　1
神港　0 0 0 0 6 1 0 0 A　7A

試合時間二時二十二分、試合時間一時間二十分

中一	打	安	本	三	殺	四	死	失
32	4	0	2	1	2	9	0	5

神港	打	安	本	三	殺	四	死	失
28	5	1	1	2	2	6	6	5

廣陵勝つ

對小倉野球戰

[illegible]同日午前十時から開始された小倉對廣陵試合成績は左の通りであつた

廣陵　1 0 2 0 0 0 0 0 2　5A
小倉　0 0 0 1 2 0 0 0 0　3

和歌商勝つ

廣陵對和歌山商業の臺北における試合は[illegible]のままドロンゲームとなつて年を越したが五日午後三時より圓山球場にて再戰次のスコアで和歌商が勝つた

和商　0 0 3 0 1 2 1 0 0　7
廣陵　3 0 0 0 0 3 0 0 0　6

バツテリー　廣陵　丸川、岩本　和商　柴田、井上

四校の選手は六日に離臺

今回臺灣新聞社招聘の和歌山商業、小倉工業、神港商業及廣陵中學の各選手一行は五日の試合をもつて全部の日程を終つたので六日大和丸にて歸還の途につくが臺北驛發は午後二時二十八分の豫定

大相撲春場所新番附發表

東西入替りとなる

【東京五日發電通】大日本相撲協會は五日午前五時春場所番附を發表した、來る十四日より十一日間國技館で擧行される、新番附左の如し

[illegible]

前獨帝持直す

【ドルン四日發電通】氣管支炎に惱む前ドイツ皇帝の病狀は四日午前九時に至り稍々持直し昨夜の經過も良好で[illegible]も低下し目下別に懸念はない

勝島仙坡博士の追弔式

[illegible]石病のため逝去した東京帝大名譽教授勝島仙之介博士の追弔式を六日午後四時から東門町曹洞宗別院において擧行するが、勝島博士は我國獸醫學界の元勳として又詩人仙坡として世に知られ生前臺中[illegible]會長たり曾ては本島にも見えた事のある學界の權威者である

滿蒙各省政府の代表が近く會合

愈よ新國家を建設

【奉天四日發電通】錦州政府の潰滅に依り近く滿蒙[illegible]の設立となり吉林、黑龍、熱河各省政府代表は目下奉天に來集して各長官と協議中で最近に聯省會議を開き新國家建設を決定の筈である

南博士臺中で五日から開業

【臺中電話】臺中醫院外科部長を辭した南博士は臺中市大正町春田館通りに醫院の新築中であつたが此の程竣功し五日より開院した、同病院は手術室[illegible]としては中部唯一の設備あり同氏の臺中醫院在職中信望を集めた人である

臺中マラソン大會成績

【臺中電話】臺中州體育協會のマラソン大會は五日臺中水道增設[illegible]十四町[illegible]において行はれたが一着以下成績左の如し

A組　一着岡[illegible]四十三分三十三

B組　一着中西三十五分五十秒△二着[illegible]山三十六分五十秒△三着山口三十六分五十秒

天氣概況

（五日）本島及沖繩地方何れも高氣壓圏内で一般に風弱く殆んど快晴の好天氣で附近海上も冬期としては稀に見る平穩の狀態となつて居ります北の好天氣は天津方面に低氣壓が現はれた爲め少くも明日位迄は持續する模樣です

▲天氣豫報（六日）北乃至東の風弱く晴れ

各地氣溫

（四日）

	最高	最低
臺北	二二・四	一五・四
基隆	二二・九	一一・〇
新竹	二三・一	一一・〇
臺中	二三・三	一一・六
臺南	二三・一	一〇・四
澎湖	二〇・六	一四・四
花蓮港	二一・〇	一三・〇
臺東	二二・九	一二・五
恒春	二三・〇	一一・五
日月潭	二〇・〇	七・二

JFAK 六日

▲午前六時三十分　朝の挨拶

[illegible]

▲午後八時四十分　[illegible]

特別廣告

新春第二回公開　新番組を

パスター・キートン主演　キートンのエキストラ

全十卷

愚弟賢兄　二番館　新世界館

元祿十三年

かんかん蟲は唄ふ

危險信號　第2世界館

漢文臺灣日日新報

賜陸海軍大臣勅語
諭軍人益勵職分彌堅節操

四日東京電。陸海兩相本日參內。奉呈賀詞。聖上賜勅語如左。

勅語

皇祖考。特賜明勅於陸海軍人。於茲五十年。汝等克守五條大綱。奉皇考遺訓。體朕意。日夜涵養軍人精神。協力一心。以舉報效之實。致忠良之誠。朕切賴汝等爲股肱。信倚先朝愛撫之軍隊。庶幾恢弘國基。宣揚國光。以對列聖之昭鑒。汝等軍人。益勵職分。彌堅節操。全其重任。

陸海軍大臣奉答文

四日東京電。陸海兩相。承賜優渥勅語。奉答如左。

奉答文

値勅語拜受五十周年。賜優渥聖旨。恐懼不知所措。臣等咸激殊遇。信倚愈重。則竭身力。勵忠節。以全股肱之本分。

錦州政府潰滅
滿蒙理想境實現
各省政府代表來奉

四日奉天電。錦州政府潰滅。滿蒙理想境實現。吉林、黑龍、熱河各省政府代表。目下來集奉天。與省長臧式毅、顧問袁金鎧氏等協議中。最近開聯省會議。將決定新國家之建設云。

錦州軍起兵掠奪
灤州昌黎一帶混亂

四日天津電。錦州軍撤退于灤州方面。在同地及昌黎一帶起兵。肆行掠奪。同地遂大混亂。

兵匪襲新民府
派兵往討

四日奉天電。新民府有兵匪襲擊之報。奉天駐屯軍四日午後八時。直發裝甲列車。急行討伐云。

山海關平靜
關外馬賊
或有侵入之虞

四日山海關電。錦州。山海關一時動搖。最近漸次平靜。駐屯第九旅動靜。與平常無異。關外馬賊。有侵入之虞。我守備隊。依然警戒。

山海關守備隊
準備派往

四日山海關電。我軍最前線部隊。方在高橋。今明日中。我鐵甲車。且進綏中。或到前所。山海關守備隊。爲與關東軍連絡。準備派遣將兵〇〇名往云。

訂六日午前
初閣議

四日東京電。政府決定六日午前十時。開初閣議云。

馮玉祥氏
對記者談

四日上海電。馮玉祥氏。舊臘來滬。本日對記者語左。學良不盡國防之責。滿洲問勿論。即北華亦不可委任之。近將召集之國難會議。將議更迭也。

明大對CB
二回戰
明大再獲勝

明大對CB野球第二回戰。去四日。開于圓山球場。是日朝來快晴。自上午九時。售入場券。一般觀衆陸續入場。明大選手一行正午到場。開始練習。CB選手。由內田監督引率亦到球場。開始練習。先是來賓。有木下內務、後藤法院。淵參謀。三好。高須。許丙諸氏臨觀。至定刻下午一時三十八分。大知球審。宣告開戰。以CB先攻。第一回。CB得二點。明大亦得二點。二回明大得一點。四回CB得二點。明大得六點。五回CB得二點。明大得三點。六回明大得二點。七回再得一點。結果以十五對七。歸明大軍再勝。CB雪辱不能。盛況裡散會。

木下長官
近將晉京

木下長官。出席于第六十議會。爲政府委員。因新年諸行事終了後。當更處理若干事務。訂來十三日瑞穗丸。或搭十五日朝日丸。首途上京。

官民合同
宴軍司令官
報告限至正午

眞崎臺灣軍司令官。近將赴內地。就其要職。爲是官民合同。訂六日下午四時。在鐵道旅館。開眞崎軍司令官招待宴。希望出席者。限于六日正午。通知于臺北市役所秘書課。添附會費二圓云。

太田總督
四日後動靜

去四日。御用始式後。太田總督行事。日程如下。五日午後六時。在官邸。開新年宴會。六日。招待眞崎軍司令官。開晚餐會。七日。出席于軍司令官招宴。八日。豫定參列觀兵式。又九日以後。或視察鵝鑾鼻。亦未可知。若確定時。當于九日或十日出發云。

眞崎中將補參謀次長
阿部中將補臺灣軍司令官
陸軍異動近日宮中擧親補式

四日東京電。參謀次長更迭。及教育總監部本部長親補。陸軍異動。九日或十一日。宮中擧行親補式。異動內容。決定如左。

補臺灣軍司令官 第四師團長 中將 阿部信行

補第四師團長 第五師團長同 伯爵 寺內壽一

補第三師團長 工兵監同 岸本鹿太郎

補第五師團長 參謀次長同 二宮治重

同時發令如左。

補參謀次長 臺灣軍司令官 中將 眞崎甚三郎

補教育總監部本部長 第三師團長同 川島義之

補步兵第七十六聯隊長（羅南） 參謀本部支那課長步兵大佐 重藤千秋

補參謀本部支那課長 第九師團參謀長同 岩松義雄

補第九師團參謀長 步兵第七十六聯隊長同 戶波辨次

昭和七年新春
督府擧行始政式
太田總督敍禮

總督府。昭和七年始政式。四日午前十時。擧于府內會議室。太田總督。木下長官。各局長。竝高等官等。一同旣著席。太田總督起述訓詞如左。

今與各位。共迎昭和七年新春。恭祝寶祚無窮。及國運隆盛。洵所欣快。臺灣改隸以來。逐年大擧統治實績。最近水產業之發展。文化之向上。實皆異常繁榮。畢竟爲歷代當局之功績。而最近之繁榮。至有今日者。信爲各位之精勵努力。大有力焉。然吾人不能徒以現狀爲滿足。希各位由是更加一層精勵努力。而舉加一段成果也。夫官吏者。天下公器也。若既自覺爲天下公器。關官紀之振肅。常不可廢弛。自不待言。余于新年初頭。與各位一新心志。以清新氣分及潑剌意氣。各司其職。聊述所懷。以代始政式敍禮詞。

對此木下長官。亦述答詞如左。

玆當昭和七年始政式。而賜懇篤訓示。我等一同。所深銘感不忘者。際此新春。如所訓示。以清新氣分及潑剌意氣。爲我臺灣繁盛。一同將爲大加努力。幸賴閣下指導鞭撻之也。茲代一同述答詞。

同十時十五分閉式。

督府社會事業講習
招聘原總務部長
十一日起教育會館

督府文教局社會課。訂來十一日起至十七日。一星期間。以計島內社會事業關係者素質向上。及促進斯業發達爲目的。在教育會館內。對州廳市郡街庄社會事務擔任者。或私設社會事業從事者。及其他有志者。開第五回社會事業講習會。講師招聘東京中央社會事業協會總務部長原泰一氏而外。大場文教局長。江藤文教局社會課長。帶金官房法務課長等多數擔任。聽講時間數計四十時間。科目及時間講師如左。

福利事業社會事業經營。十二時間。

中央社會事業協會總務部長。 原泰一

習俗改良。二時間

文教局長 大場鑑次郎

本島會社事業。二時間

文教局社會課長 江藤昌之

釋放者之保護。二時間

督府官房法務課長 帶金悅之助

社會衛生。二時間

醫專校長 堀內次雄

兒童保護。二時間

臺北醫院長 安井禁之助

社會政策。四時間

高商教授 新里榮造

少年保護。二時間

督府感化院長 杵淵義房

民族衛生。二時間

督府視學官 阿部文夫

失明防止。二時間

臺北盲啞校長 木村謹吾

癩問題。二時間

督府樂生院長 上川豐

方面事業。二時間

臺灣社會事業主事 中村不羈兒

阿片問題。二時間

醫專教授 杜聰明

各國之社會事業。二時間

[illegible]院長 [illegible]

[illegible]午後一時起。視[illegible]

[illegible]專賣局[illegible]場。督府更生院。草山公共浴場。十七日午後一時起。視察愛々寮。仁濟院實費診療所。託兒所。公設質舖。職業紹介所。簡易宿泊所。成德學院等云。

原講師來臺
講演日程

中央社會事業協會總務部長原泰一氏。受督府文教局招聘。去二日乘扶桑丸來臺。五日午後三時半到臺北。六日午前視察屏東。並與該地方面委員懇談。午後到高雄視察。夜在高雄婦人會館講演。七日視察臺南。夜在公會堂講演。八日午前視察嘉義。並與該地方委員懇談。午後視察臺中。夜在臺中市民館講演。九日歸臺北。宿鐵道旅館。十一日起三日間視察臺北。並應社會事業講習會之講演。十三日午前講義。午後搭瑞穗丸歸還內地。

日華關係再不惡化
公使外長不遠會見
首相特使萱野長知氏談

四日上海電。國民政府成立。對日直接交涉。日華紛爭解決之氣運。政府要人間。夙已醞釀。最近愈熾。不遠重光公使。與陳外交部長。當作第一回會見。犬養內閣成立。同時犬養首相特派使節萱野長知氏。會新國民政府要人。約二週拜懇談一切。近返本埠。氏所言如左。新政府。十分理解日本眞意。且甚懷好感。自是事實。日華關係。再不惡化。重光公使。與陳部長會見。雖不便言。不遠且行矣。氏爲特派使節。以謀日華交涉。政治的進展。合應繼駐當地云。

暴徒銃斃訓導夫妻
福州領事抗議

四日東京電。據福州田村總領事發。外務省接公電。三日中國暴徒二名。侵入福州日本小學校。以短銃擊臺灣總督府派遣訓導水戶參經。及其內人光子。兩名均死。田村總領事。直對中國官憲。嚴重抗議云。

印度對英經濟絕交
爲甘地氏收監

四日孟買電。印度甘地氏收監。印度國民會議派。憤慨至極。四日遂宣言對英經濟絕交。又該會議派。本日聲明求美國援助印度人解放云。

匪賊雖遇機關銃
猶頑强抵抗激戰

四日新民府電。嵯峨大隊。及宮崎大隊。[illegible]努力防戰。至於更深。守新民府東方[illegible]乃敵匪益多。頑强抵抗。猶繼激戰云。

張學良政治運命
財政難不保矣

四日北平電。張學良。所留一東北地盤。勢不得不完全放棄。國中信望已失。中央關係亦薄。今也。北方獨立歟。潔已下野歟。似立於岐路。各方面一致觀測。中央如再或出壓迫的態度。立即宣言獨立。此時趨於其下者。河北。山西。察哈爾。綏遠四省。得河南蔣介石直系側面支援。軍事的有持久可能性。然最大難關。爲財政問題。舊年末如何度過。至一月末。或二月初。縱無他動的衝動。亦見財政的棘手。則其運命自決。當地外交團方面。則料其爲財政難。至於部下不統制。內部崩壞。收拾不得。再起不能云。

北部隊全滅賊
大泡子爲伏兵襲擊

四日鞍山電。鞍山西方劉二堡方面。大股匪賊猖獗。四日朝。鞍山守備隊北部大尉所率〇中隊。四日午前十時半。於劉二堡前面。遇有砲數門六百兵匪。與之激戰。敵力抵抗。遂退西北方。我軍追擊。至大泡子附近。爲腹背突爲有砲十門大部隊襲擊。北部大尉以下。當見全滅。此時北部大尉。悲壯覺悟。毅然自在陣頭突擊。兵士等拔銃劍。[illegible]上馬四十[illegible]午後一時[illegible]遁走。我軍事幹部各[illegible]

新竹公園野球

山臺灣體協新竹支部主催。四日上午十時起。在新竹公園球場。開全國中等學校選拔之新春野球戰。是日舉行。自上午十時。至正午。由新竹野球團。先對神戶港商業學校團。開始比試。下午二時起。至同四時之間。在小倉工業對神港商業學校團對試。

正米市場初立會
商工課長臨場訓詞
繼開新年宴會

臺灣正米市場。四日午前十時半。擧行新年初立會式。入場者甚夥。督府則中田商工課長。臺北州岩滿內務部長。顧問辯護士金子光太郎氏。倉庫會社中山勇次郎氏等臨場。首由理事長吳逢淇氏式詞。次中田商工課長。起爲一場訓詞演說。略謂舊臘政變。致金再禁止。諸物價一齊昂騰。殊如米價。因通貨價值更新。及昨年歉收。供給不足。前途起大波瀾。要之米界已脫去不況。而迎多望之新年。至爲同慶。希望組合員各位十分警戒。活躍奮鬪。進退得宜也。次中山勇次郎氏祝詞。貝山常務理事敍禮。初立會告畢。正午于江山樓。開新年宴會。各組合員來賓等。凡百餘名出席。貝山常務理事敍禮。中田商工課長謝詞。二時半散會。

福州領事被毆事件
草鹿艦長受輕傷
馬公櫂艦急赴福州

五日馬公發本社特電。福州田村總領事。並草鹿北上艦長遭難事件。據馬公要港部談云。福州事件。恰如貴社所接電。艦長全然非重傷。去一月二日午後四時。反日會排日大遊行群衆。與田村總領事草鹿艦長。杉野砲術長。在公園入口邂逅。被民衆投石。爲是艦長受輕傷。在混亂中。被中國巡警彈壓。關此對中國官憲嚴重抗議。又驅逐艦櫂。是日午後。急向福州出動。

福州滋事華南堪虞
海軍下令出動

四日東京電。福州方面二日來。形勢愈迫。海軍四日急派〇〇碇泊之艦入福州。並造馬尾碇泊中巡洋艦北上。陸戰隊百名上陸。又鑒華南一帶形勢。四日擬從佐世保待機中第二十七驅逐隊（蓮、蓼。菫）。已發出動命令。該驅逐隊。合於五日早朝發航云。

暹羅米
輸入能和盤

十二月十三日金輸出禁止以前。內部米百斤四圓二十錢內外而已。迨禁止後一週間。即起數十錢。自客臘二十六日正米市場大納會。蓬萊米圓糯米狂騰。人氣好轉。一至除夕。南部米一躍起至六圓五六十錢。各地在來穀。千斤約至五十圓。白米五升斗。禁金前五六十錢。迄至八九十錢。近因蓬萊米暴落。在來米百斤亦跌三四十錢。然外米入口。尙能和盤。聞暹羅米百斤三元五角。百五十斤五元二角。銀行七十二圓。即我三圓七十錢內外。又加運金關稅二圓。計六圓百斤四圓五十錢內輸入商已食指欲動

廈門排日風潮軟化
海員等工會決議
到底不能實行

據本社同人許寶亭君來信。滿洲事件發生以來。對岸香港、廣東、汕頭、福州、廈門各地。盛唱排日。香港廣東。猶見激烈。日籍之汽船給仕。殆全引退。雖有一二屬植民地之本島人。若船碇泊上岸。亦須改服華服。操華語。否則恐有危險。唯福州、廈門。排日風潮。較見軟化。聞若廈門海員、下海、双槳等工會首腦部。於客臘尽二十日決議自同二十五日起。全部罷業。不得往接日籍船客。然多不能團結。同月二十八日午前六時半入港之廣東丸。亦仍蟻集於兩側。唯其數不過十數艘。較之往日。減去過半。至於市內。雖有排日學生團集會策謀。然亦多歸水泡。臺灣僑民。毫無危險之感也。

臺北消防出初式
依例在公園擧式
官民多數臨場

臺北市消防組出初式。依年例。去四日上午七時。在新公園廣場擧式。是日朝來快晴。先是井上警務局長。藤村警務局警務課長。平山臺北州知事。與

田州警務部長。內

堀內醫專校長。

長。民間二港。中

屆宇賀電力理事

議會員諸氏臨場。

田州警務部長。點檢

器具並操法。次平

一場訓示。內海市

辭。後依例乘物及

設在附近假屋。演

消防後。對十五年

小林總殿者氏。授

同八時半。盛況裡

臥軌條
醉人險些

新竹市水田人林

林生。現爲帝國

線路工夫。元旦

被某內地人招待。

酊。下午二時。

線路。倒臥於五

上。會下午三時半

自新竹工場。向下

行中之五分車。駛

身邊。僅相去尺半

機關手知覺。急停

醒。始免被其轢死

女孩溺死

竹東郡新城庄入

之次女。陳氏英妹

古二十九日。其家

往田園間操作。英

氣水吞飲。跌落水

失足。跌落埤中溺

檢擧賭博團

新竹市西門人江阿

某等外二十餘名。

在西門城隍廟前。

被警察署相原刑事

田中兩巡查捕去。

拾得漂流網

去二十九日。約距

紅毛庄海濱五町洋

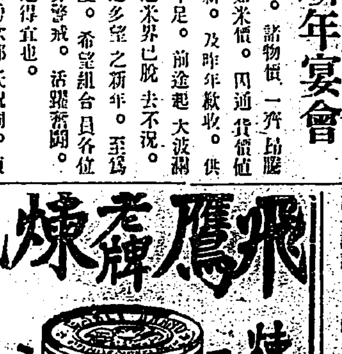
漂流漁網兩枚。長

十間。被某漁夫拾

所有者不明。暫時

舊港庄役場內。

飛鷹老牌煉乳



煉乳之王

ワシ

ミルク

莫購劣貨

美國出品

各處均有出售